

平成 17 年度

# まちづくりに あなたのご意見を

平成 17 年市民意向調査報告書



帯広市 企画部 企画課

## はじめに

わが国は、少子高齢化社会の進行、経済のグローバル化や高度情報化の進展など大きく変化してきており、これまでの発展を支えてきた社会経済システムを次代の発展にふさわしいものへと改革する様々な取り組みが進められています。

行政分野においても、分権型社会の構築に向けて、国庫補助負担金、地方交付税、税源移譲を一体として改革する「三位一体改革」や市町村合併、道州制など様々な制度改革が進められており、これからの自治体は、厳しい行財政環境のなかで地域の意思と責任に基づく自主・自立のまちづくりが求められています。

こうした時代の変化に的確に対応し、地域特性、資源を活かしながら、個性と活力あるまちづくりを進めるために市民との協働による効果的な政策展開がますます重要になっています。

帯広市は、昭和34年に総合計画を策定して以来、現在まで総合計画を総合的・計画的なまちづくりの基本指針としてすすめてきました。今年度は、第五期総合計画後期推進計画のスタートの年です。本調査は、今後5カ年にわたり市民の皆さんの生活全般に関するニーズや満足度、施策の重要度などについて意向を把握することにより、これからのまちづくりをすすめるための基礎資料として活用させていただきます。

本調査実施にあたりまして、ご多用な中ご協力いただき、貴重なご意見・ご提言をいただいた多くの市民の皆様にご心から感謝を申し上げますとともに、引き続き本市の発展のためにご協力をお願い致します。

平成17年8月

帯広市長 砂川敏文

# 目 次

<b>-調査概要</b>	
1 調査の目的	1
2 調査の内容	1
3 調査の方法	1
4 回収結果	1
5 調査対象者の年齢別人口構成	4
6 標本誤差	5
7 重み付けによるシュミレーション	6
8 地区区分図	7
<b>-調査結果概要</b>	
問1 あなたの性別は？	8
問2 あなたの年齢は？	9
問3 あなたの職業は？	10
問4 あなたの居住年数は？	11
問5 帯広市の住みごころは？	12
問6 これからも帯広市に住み続けたいとおもいますか？	13
問7 住み続けたい理由？	14
問8 どこに移りたいか？	15
問9 移りたい理由？	16
定住意識についての参考（問5～問9）	17
問10 具体的項目別満足度・重要度	19
1 まちづくりに関する具体的項目別の満足度・重要度	19
2 満足度の比較と評価方法	20
3 重要度の比較と評価方法	22
4 満足度・重要度の前回調査との比較	24
5 満足度・重要度順位の組み合わせによる評価 （問10満足度VS重要度散布図）	26 28
6 組み合わせによる評価と年代別（地区別）の評価	29
<b>-自由意見・提言概要</b>	
1 意見・提言の回答状況	37
2 地区別の意見・提言数（人）	37
3 年代別の意見・提言数（人）	37
4 意見・提言の区分と評価	38
平成17年 市民意向調査票	39

## - 調査概要

### 1 調査の目的

この調査は、まちづくりに関する市民の意向を把握し、第五期帯広市総合計画の後期推進計画の効果的、効率的な推進に活用することを目的として実施しました。

また、平成17年度から後期推進計画の期間中毎年度、実施することにより今後の本市のまちづくりに市民の意向を反映しようとするものです。

### 2 調査の内容

調査の内容は、全体で3区分、設問数は10項目で実施しました。

- (1) 帯広市の住みごちについて (問5)
- (2) 定住意識について (問6～9)
- (3) まちづくりに関する項目別の満足度合い、重要度合い (問10)

### 3 調査の方法

- (1) 調査対象地域 帯広市(全市)
- (2) 調査対象者 帯広市に居住する満20歳以上の男女(平成17年3月31日現在)
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 標本抽出方法 無作為抽出  
(帯広市を7地区に分類。全市男女比率、全市年齢別比率を適用)
- (5) 調査の方法 質問用紙による郵便発送・返送方法
- (6) 調査時期 平成17年5月(4月28日発送、5月20日締め切り)

### 4 回収結果

- (1) 回収数(率) 957件(32.1%)
- (2) 有効発送数(率) 2,982件(99.4%)
- (3) 調査不能数(率) 18件(0.6%)

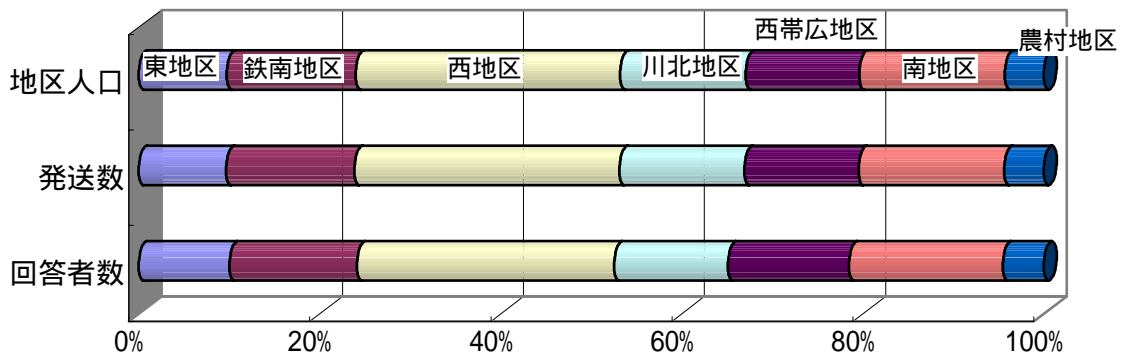
	前回 (H15)	(H 7)
(1) 回収数(率)	927件(31.4%)	1,417件(47.7%)
(2) 有効発送数(率)	2,954件(98.5%)	2,971件(99.0%)
(3) 調査不能数(率)	46件(1.5%)	29件(1.0%)

調査不能理由：転居先不明による。

(4) 地区別人口・発送・回答数(率)

(回答者数 957)			(有効発送数 2,982)		(平成17.3末 20歳以上)	
地区	回答者数	比率	発送数	比率	地区人口	比率
東地区	96	10.0%	288	9.7%	13,373	9.7%
鉄南地区	135	14.1%	423	14.2%	19,567	14.2%
西地区	272	28.4%	873	29.3%	40,223	29.2%
川北地区	120	12.5%	411	13.8%	19,067	13.9%
西帯広地区	128	13.4%	377	12.6%	17,287	12.6%
南地区	163	17.0%	480	16.1%	22,137	16.1%
農村地区	43	4.5%	130	4.4%	5,900	4.3%
計	957	100.0%	2,982	100.0%	137,554	100.0%

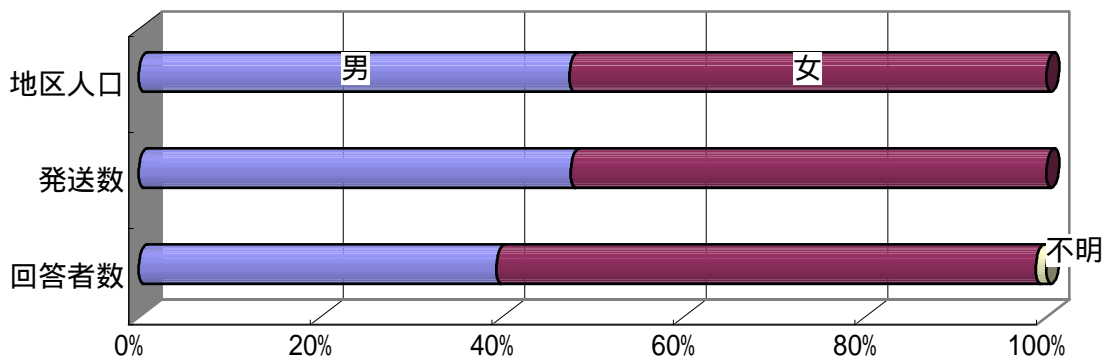
地区別人口・発送・回答の割合



(5) 男女別人口・発送・回答数(率)

(回答者数 957)			(有効発送数 2,982)		(平成17.3末 20歳以上)	
性別	回答者数	比率	発送数	比率	地区人口	比率
男	377	39.4%	1,420	47.6%	65,317	47.5%
女	569	59.5%	1,562	52.4%	72,237	52.5%
不明	11	1.1%				
計	957	100.0%	2,982	100.0%	137,554	100.0%

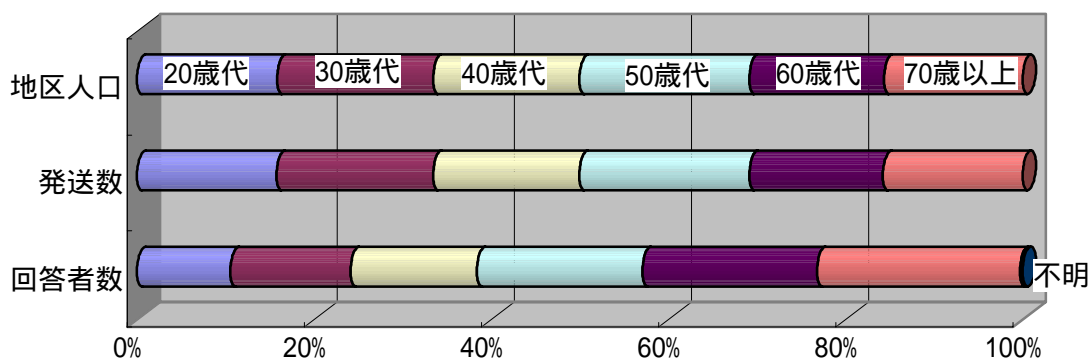
男女別人口・発送・回答数(率)



(6) 年齢別人口・発送・回答数(率)

(回答者数 957)			(有効発送数 2,982)		(平成17.3末 20歳以上)	
地区	回答者数	比率	発送数	比率	地区人口	比率
20歳代	101	10.6%	470	15.8%	21,746	15.8%
30歳代	130	13.6%	527	17.7%	24,253	17.6%
40歳代	136	14.2%	492	16.5%	22,744	16.5%
50歳代	179	18.7%	573	19.2%	26,394	19.2%
60歳代	189	19.7%	450	15.1%	20,891	15.2%
70歳以上	219	22.9%	470	15.8%	21,526	15.6%
不明	3	0.3%				
計	957	100.0%	2,982	100.0%	137,554	100.0%

年齢別人口・発送・回答の割合

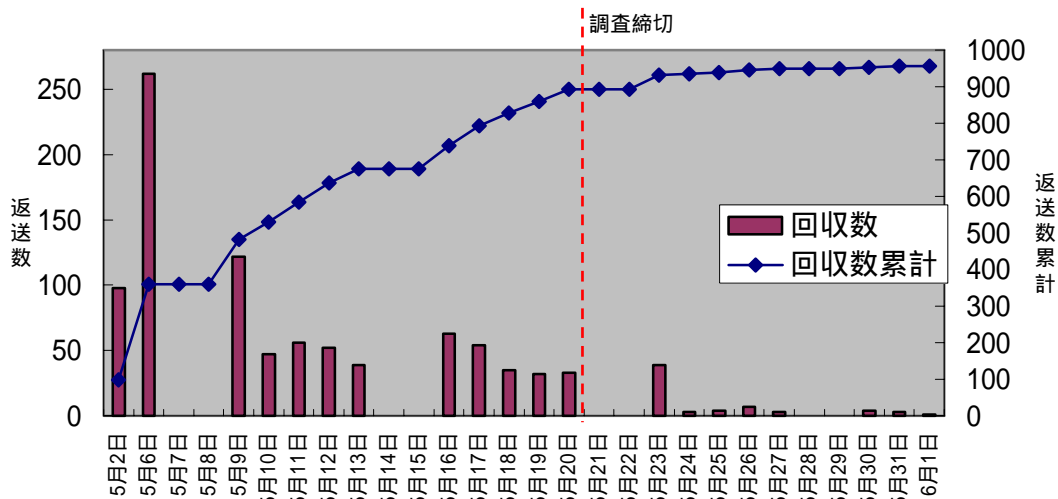


(7) 回答の状況

本調査は、無作為に抽出した20歳以上の市民3,000人に対し、4月28日調査票を発送し、調査票の返送状況は、下図のとおりとなっています。

調査回答の締切期日は、5月20日であったが6月1日までに返送された957件について分析を行いました。

市民意向調査返送の状況

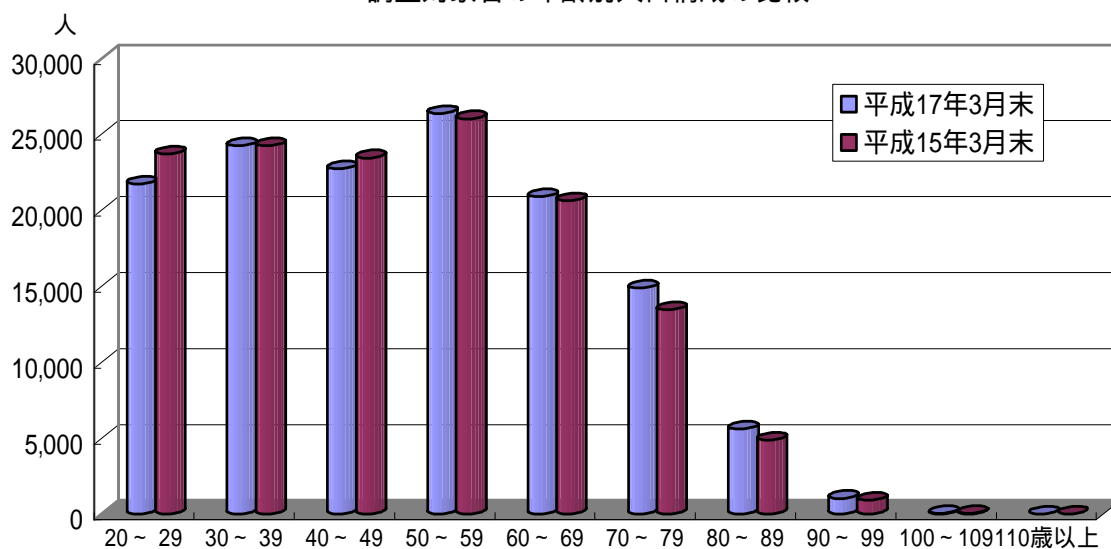


## 5 調査対象者の年齢別人口構成（前回との比較）

調査の対象とした20歳以上の市民の年齢別人口構成は、次のとおりです。前回の調査と比較して総数で201人増加し、年齢別では、20歳代・40歳代が減少し、他の年代では増加しています。相対的には50歳未満で減少し、50歳以上で増加の傾向が見られます。

年齢	平成17年3月末	平成15年3月末	平成17年 - 平成15年
20～29	21,746	23,720	-1,974
30～39	24,253	24,249	4
40～49	22,744	23,462	-718
50～59	26,394	26,029	365
60～69	20,891	20,645	246
70～79	14,870	13,456	1,414
80～89	5,593	4,868	725
90～99	1,026	898	128
100～109	37	26	11
110歳以上	0	0	0
合計	137,554	137,353	201

調査対象者の年齢別人口構成の比較



## 6 標本誤差

調査対象者数と回答者数より、回答の割合（50～90％）ごとに標本誤差を算出する。  
信頼度95％（危険率5％）の標本誤差は、次式により計算される。

$$\text{標本誤差(1.96)} = 1.96 \times \sqrt{\left(1 - \frac{n}{N}\right) \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団の数（調査対象者数）  
n = 標本数（回答者数）  
p = 標本調査結果の比率（回答の割合）

（例）あなたは、帯広が好きですか？との問に回答者の50％が好きだと答えていた場合  
N = 20歳以上の調査対象者数 = 137,554人  
n = 調査の回答者数 = 957人  
p = 回答の割合 = 50% = 0.5

$$\begin{aligned} \text{標本誤差(1.96)} &= 1.96 \times \sqrt{\left(1 - \frac{957}{137,554}\right) \frac{0.5(1-0.5)}{957}} \\ &= 0.032 = 3.2\% \end{aligned}$$

50％の市民が「帯広が好きだ」との回答の誤差は、±3.2％となるので、  
「帯広が好きだ」という市民は、46.8～53.2％の範囲ということになる。

各区分毎の標本誤差は、下表のとおり。標本数の少ない「20歳代」「東地区」「農村地区」の誤差が大きくなっていることに注意をしておきたい。

区分	調査対象 N(母集団)	回答者 n(標本数)	標本誤差(信頼度95%)				
			p標本調査結果の比率(%) (設問に対する回答の割合%)				
全体	20歳以上人口	回答数(人)	50%	60%	70%	80%	90%
合計	137,554	957	3.2%	3.1%	2.9%	2.5%	1.9%
性別	20歳以上人口	回答数(人)	50%	60%	70%	80%	90%
男性	65,317	377	5.0%	4.9%	4.6%	4.0%	3.0%
女性	72,237	569	4.1%	4.0%	3.8%	3.3%	2.5%
年齢	20歳以上人口	回答数(人)	50%	60%	70%	80%	90%
20～29	21,746	101	9.7%	9.5%	8.9%	7.8%	5.8%
30～39	24,253	130	8.6%	8.4%	7.9%	6.9%	5.1%
40～49	22,744	136	8.4%	8.2%	7.7%	6.7%	5.0%
50～59	26,394	179	7.3%	7.2%	6.7%	5.8%	4.4%
60～69	20,891	189	7.1%	7.0%	6.5%	5.7%	4.3%
70歳以上	21,526	219	6.6%	6.5%	6.0%	5.3%	4.0%
地区	20歳以上人口	回答数(人)	50%	60%	70%	80%	90%
東	13,373	96	10.0%	9.8%	9.1%	8.0%	6.0%
鉄南	19,567	135	8.4%	8.2%	7.7%	6.7%	5.0%
西	40,223	272	5.9%	5.8%	5.4%	4.7%	3.6%
川北	19,067	120	8.9%	8.7%	8.2%	7.1%	5.4%
西帯広	17,287	128	8.6%	8.5%	7.9%	6.9%	5.2%
南	22,137	163	7.6%	7.5%	7.0%	6.1%	4.6%
農村	5,900	43	14.9%	14.6%	13.6%	11.9%	8.9%



## 7 重み付け（ウエーティング）によるシュミレーション

回答者の割合を年齢別に比較した場合、若年者層が低く、高齢者層が高い状況（参照：年代別人口・発送・回答数（率））にあることから調査結果に、高齢者の意向が強く現れる可能性がある。

そのため満足度合い・重要合いに関する(問10)の設問で次の方法でシュミレーションを行った。

- (1) 各年代の回答結果（満足～不満足5区分の割合）に年齢人口を積算した上で満足度の加重平均で求め順位付けを行った結果は次のとおりである。

番号	質問の内容	回答結果による		シュミレーションによる	
		満足度	順位	満足度	順位
7	公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	0.4894	1	0.4540	1
31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	0.4448	2	0.4454	2
29	帯広の森で散歩したり、自然に親しんだりする機会があること	0.4365	3	0.4263	3
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	0.4139	4	0.3581	4
16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	0.3621	5	0.3409	5
中略					
28	生き生きとして働くことのできる場があること	-0.5401	46	-0.5339	46
48	市役所の行財政改革が進められていること	-0.5835	47	-0.5965	47
19	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	-0.6012	48	-0.6198	48
44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	-0.8560	49	-0.8873	49
20	若者が魅力を感じることで働く場があること	-1.0000	50	-1.0058	50

上記（中は省略）のようにシュミレーションによって、満足度を比較してみた場合、満足度の加重平均による値は変化する（最大値0.0723）が、順位に大きな変動（最大3）は、みられない。

本調査による満足度の3区分（別頁記載）に影響がある項目は、次の2つであった。

8	とち帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	-0.1963	33	-0.2481	36
2	外国の人々と交流する機会があること	-0.2096	36	-0.2191	34

- (2) 同様に各年代の回答結果（重要～非重要5区分の割合）に年齢人口を積算した上で重要度の加重平均で求め順位付けを行った。

番号	質問の内容	回答結果による		シュミレーションによる	
		重要度	順位	重要度	順位
38	病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	1.5933	1	1.5895	1
50	防犯など身近な地域の安全が保たれていること	1.5713	2	1.5809	2
40	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	1.5345	3	1.5385	3
5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	1.4905	4	1.4893	5
20	若者が魅力を感じることで働く場があること	1.4886	5	1.4898	4
中略					
41	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	0.5964	46	0.5962	46
12	スポーツ活動などに参加する機会があること	0.5740	47	0.5589	47
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	0.5576	48	0.5115	48
49	姉妹都市など国内の他都市との交流をする機会があること	0.3985	49	0.3784	49
2	外国の人々と交流する機会があること	0.2069	50	0.2231	50

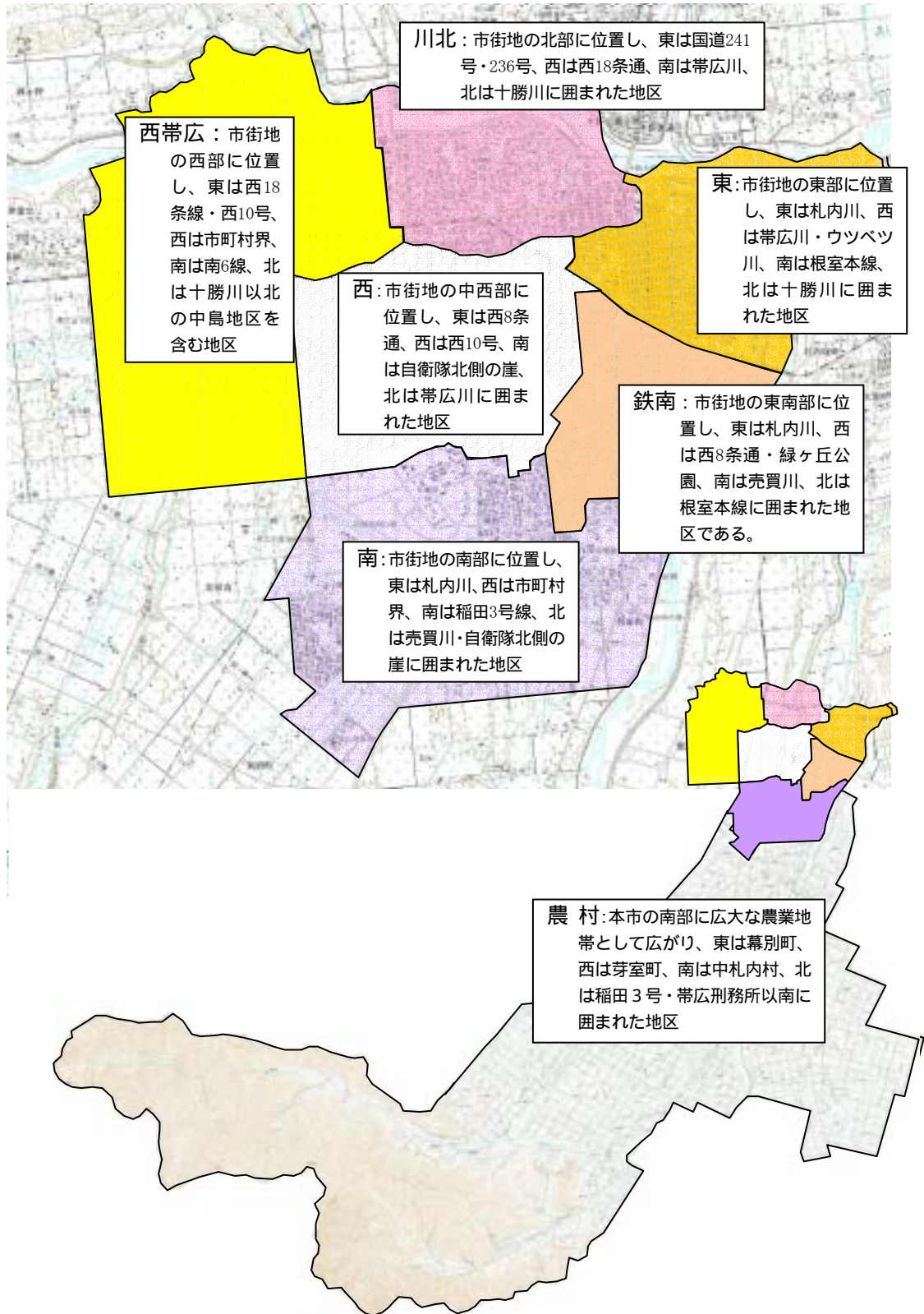
上記（中は省略）のようにシュミレーションによって、重要度を比較してみた場合、重要度の加重平均による値は変化する（最大値0.0540）が、順位に大きな変動（最大3）は、みられない。

本調査による重要度の3区分（別頁記載）に影響がある項目は、なかった。

重み付けの結果、満足度・重要度ともに、若年者層の回答（評価）が満足度合い・重要度合いに低い傾向が見られるが、本調査を解析するうえでは、影響がない範囲内であると判断できることから重み付けを行わず実回答数による報告とする。

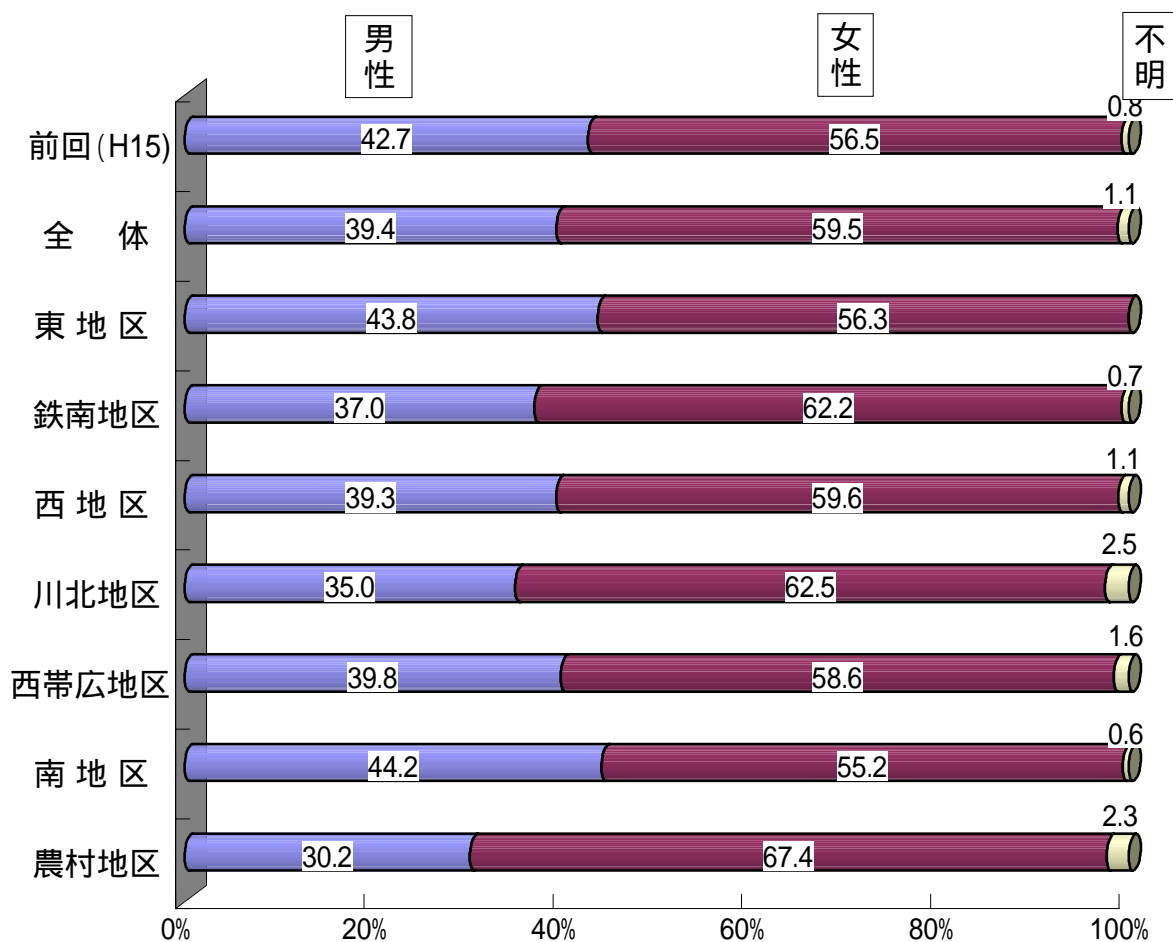
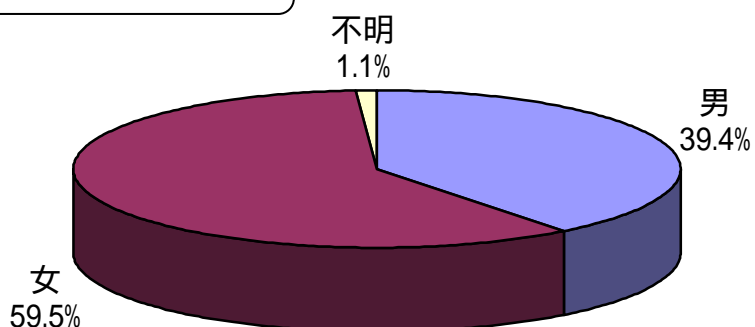
## 8 地区区分図

市内7住区は、下図のとおりである。



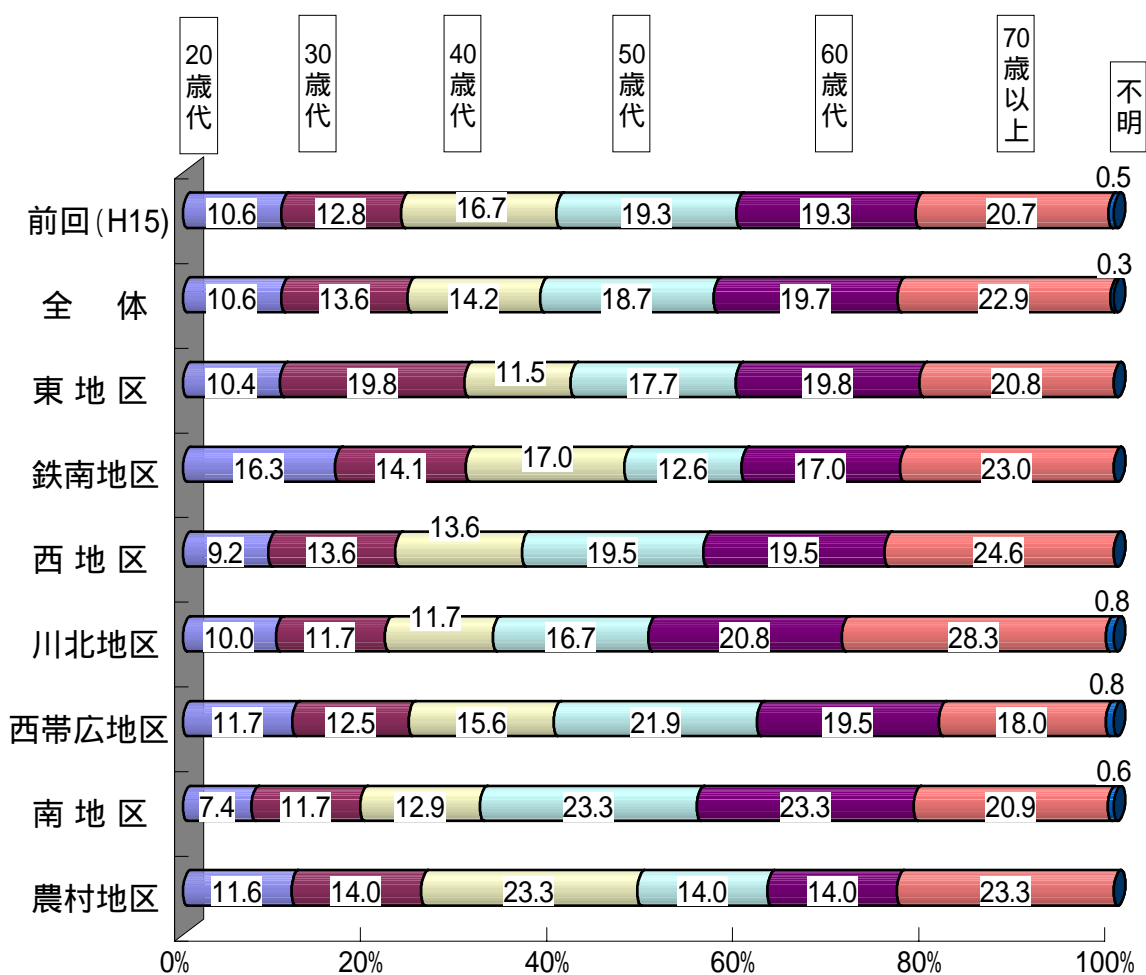
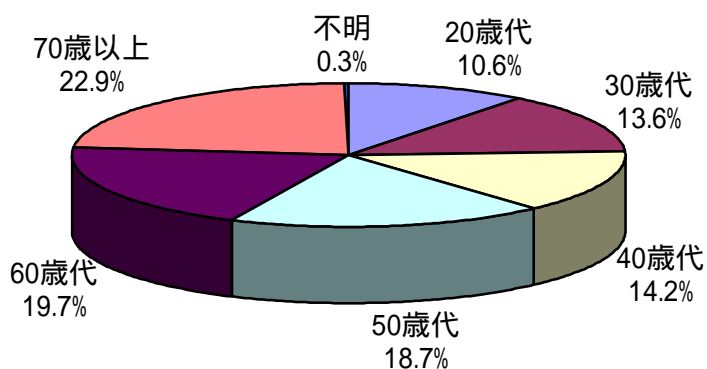
## - 調査結果概要

問1 あなたの性別は？



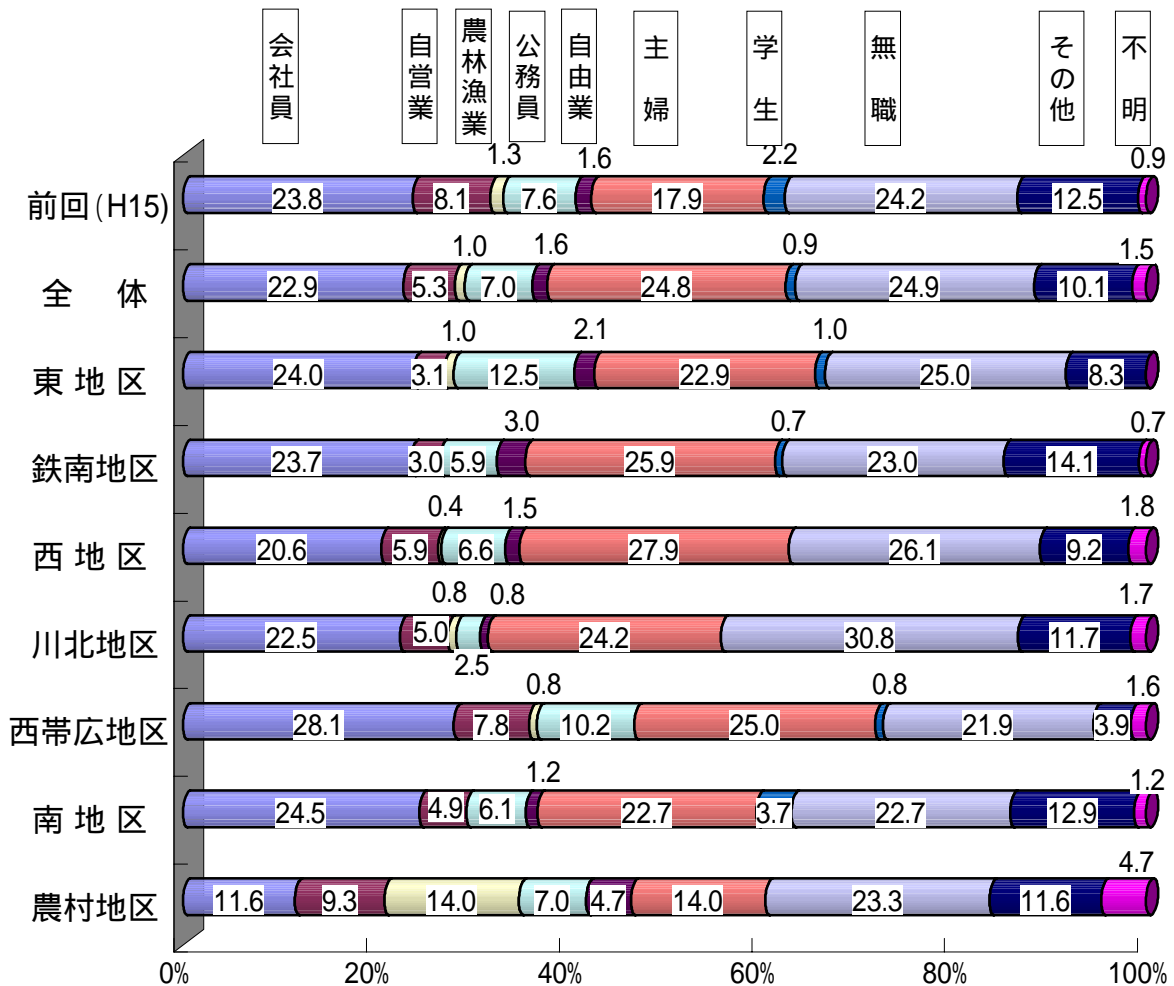
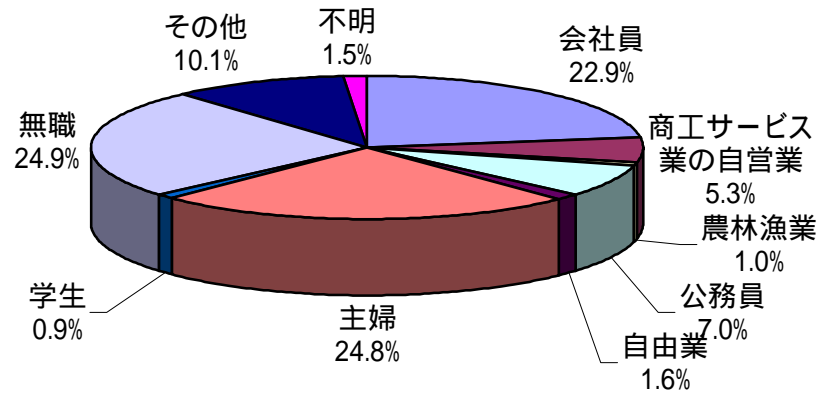
回答者数は957人で、男377人(39.4%)、女569人(59.5%)と女性が男性を上回っている。不明(無回答)は11人(1.1%)。  
地区別にも、全ての地区において女性の回答者が男性を上回っている。

問2 あなたの年齢は？



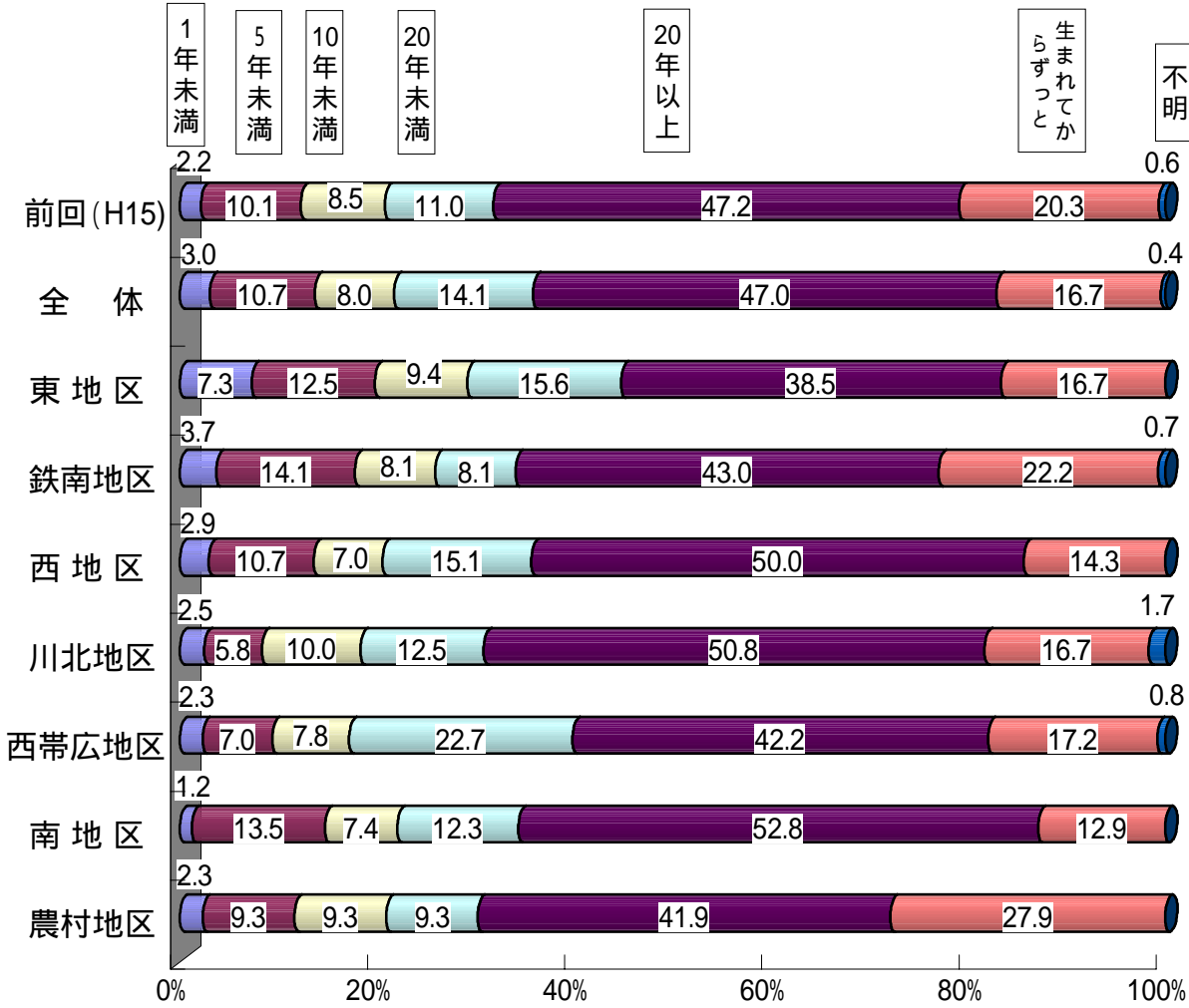
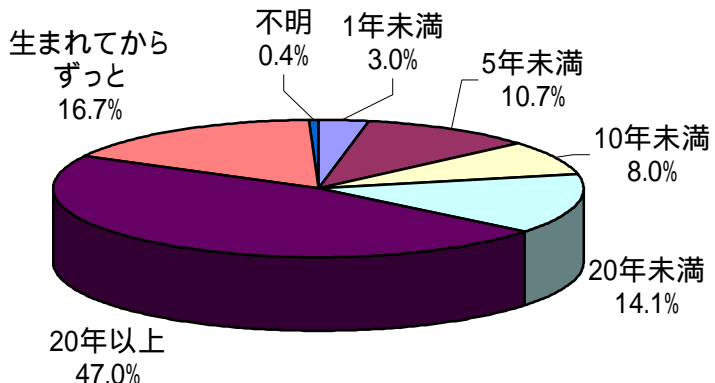
各年齢層からまんべんなく回答されているが、全体では70歳以上が最も多く、60歳代、50歳代と続いている。地区別にみても、50歳代・60歳代・70歳以上の回答が多い。農村地区では、40歳代の回答率(返送/発送)が高い。

問3 あなたの職業は？



回答者の職業は「主婦」24.8%、「会社員」22.9%の順である。全体では、70歳以上の回答が多いため、「無職」が24.9%と多くなっている。地区別においても、「無職」の割合が高くなっている。

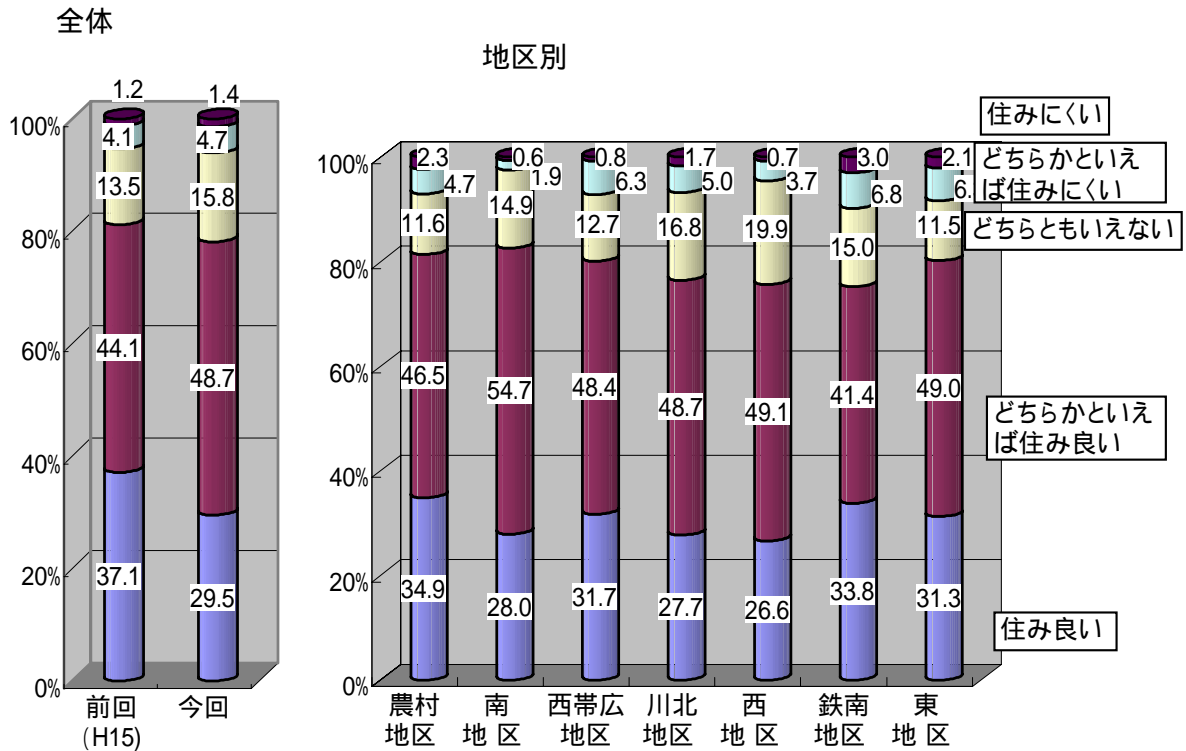
問4 あなたの居住年数は？



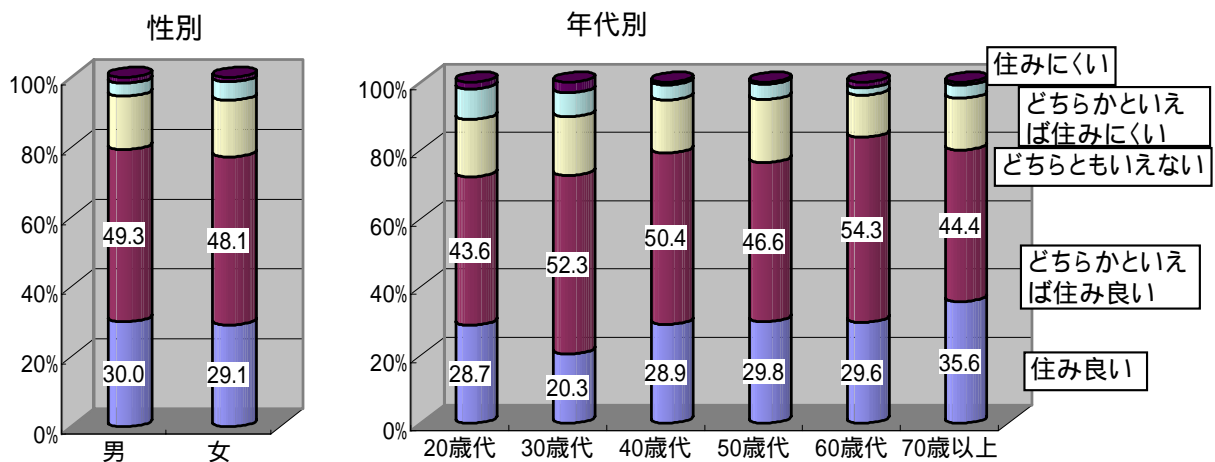
回答者の居住年数は「20年以上」47.0%、「生まれてからずっと」16.7%と全体の6割以上となっている。地区別においては、川北、農村地区で「20年以上」「生まれてからずっと」多い。東地区・西帯広地区では、「20年未満」の回答率が他の地域より多くなっている。



## 問5 帯広市の住みごころは？

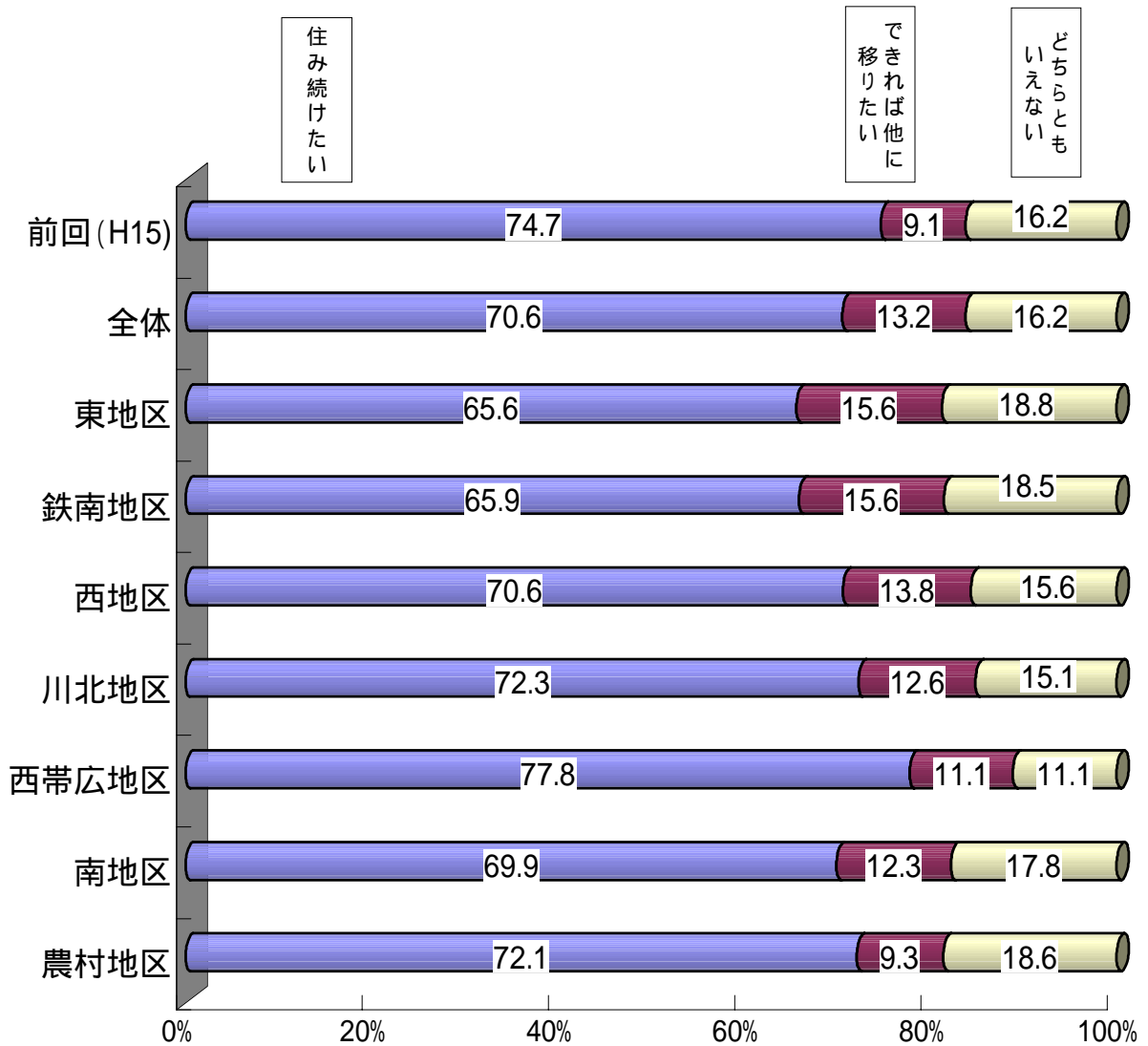
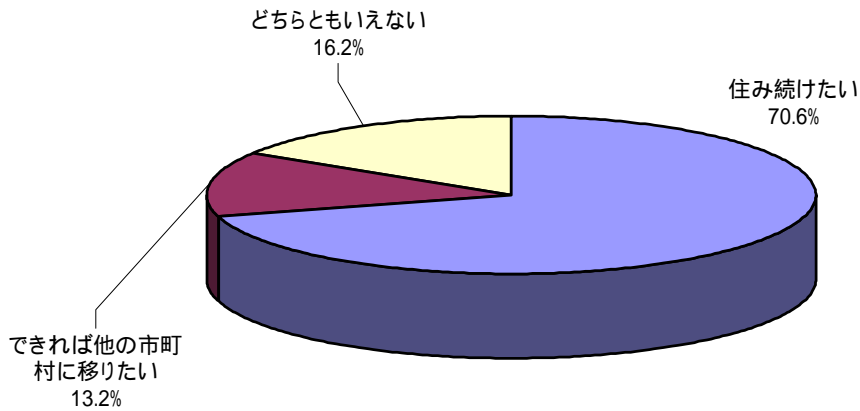


「住み良い」279人(29.5%)、「どちらかといえば住み良い」460人(48.7%)を合わせて全体の78.2%の人が住み心地が良いとしている。前回調査(81.2%)からは減少しているが依然として高い評価となっている。地区別では、南地区(82.7%)、農村地区(81.4%)が高くなっている。



また性別と年代別の評価では、性別による大きな違いは見られないが、年代別では、20歳代・30歳代で「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の評価が7.2%台であり他の年代より若干低くなっている。

問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？



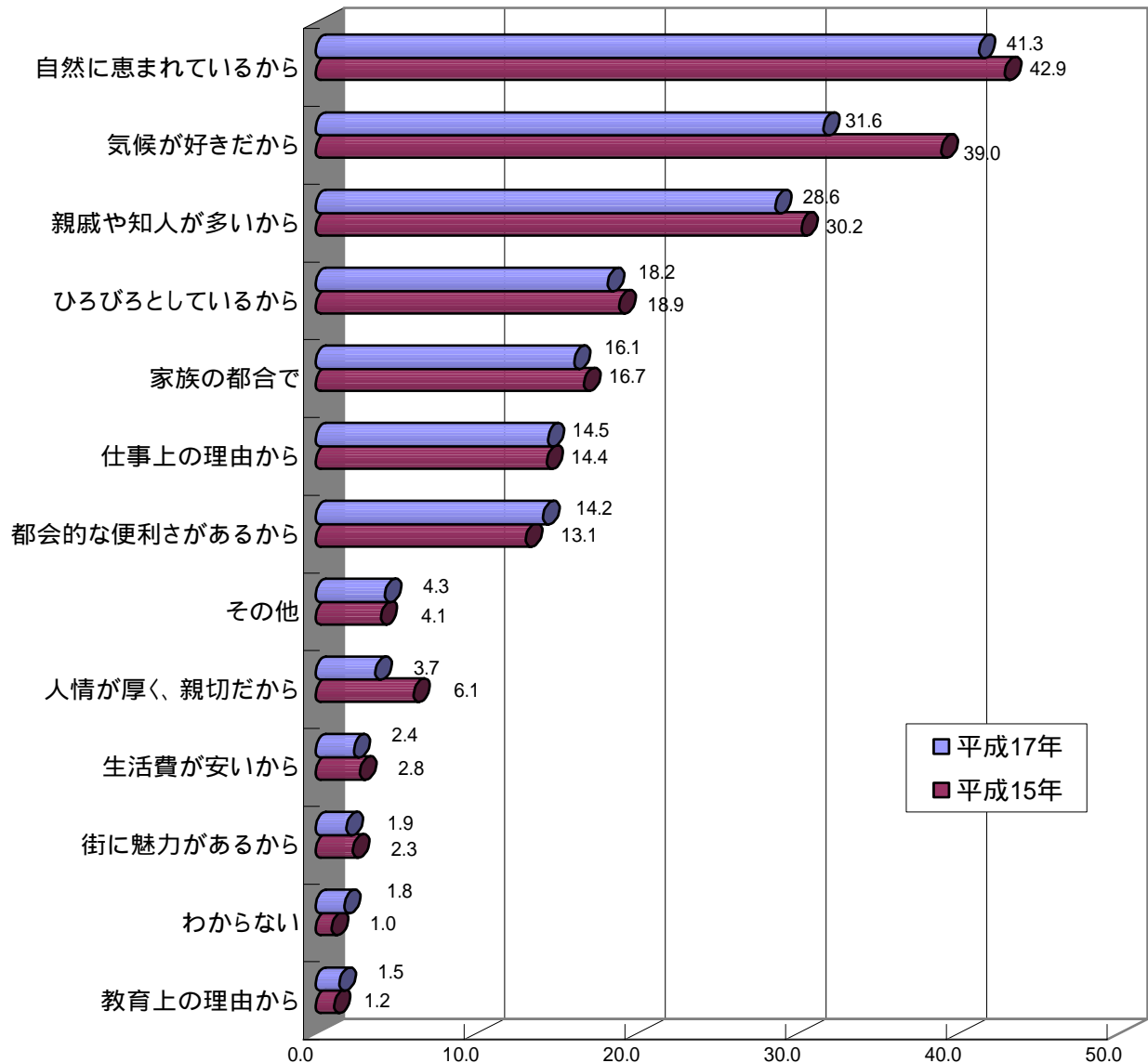
回答者数は951人で、「住み続けたい」671人(70.6%)、「できれば他の市町村に移りたい」126人(13.2%)、「どちらともいえない」154人(16.2%)となっている。  
 地区別においては、西帯広地区で「住み続けたい」が77.8%と高くなっている。  
 「住み続けたい」は、前回(H15)より4.1ポイント減少している。



## 問7 住み続けたい理由？

問6で「住み続けたい」と答えた方(671人)にその理由を13の選択肢から2つまで回答。

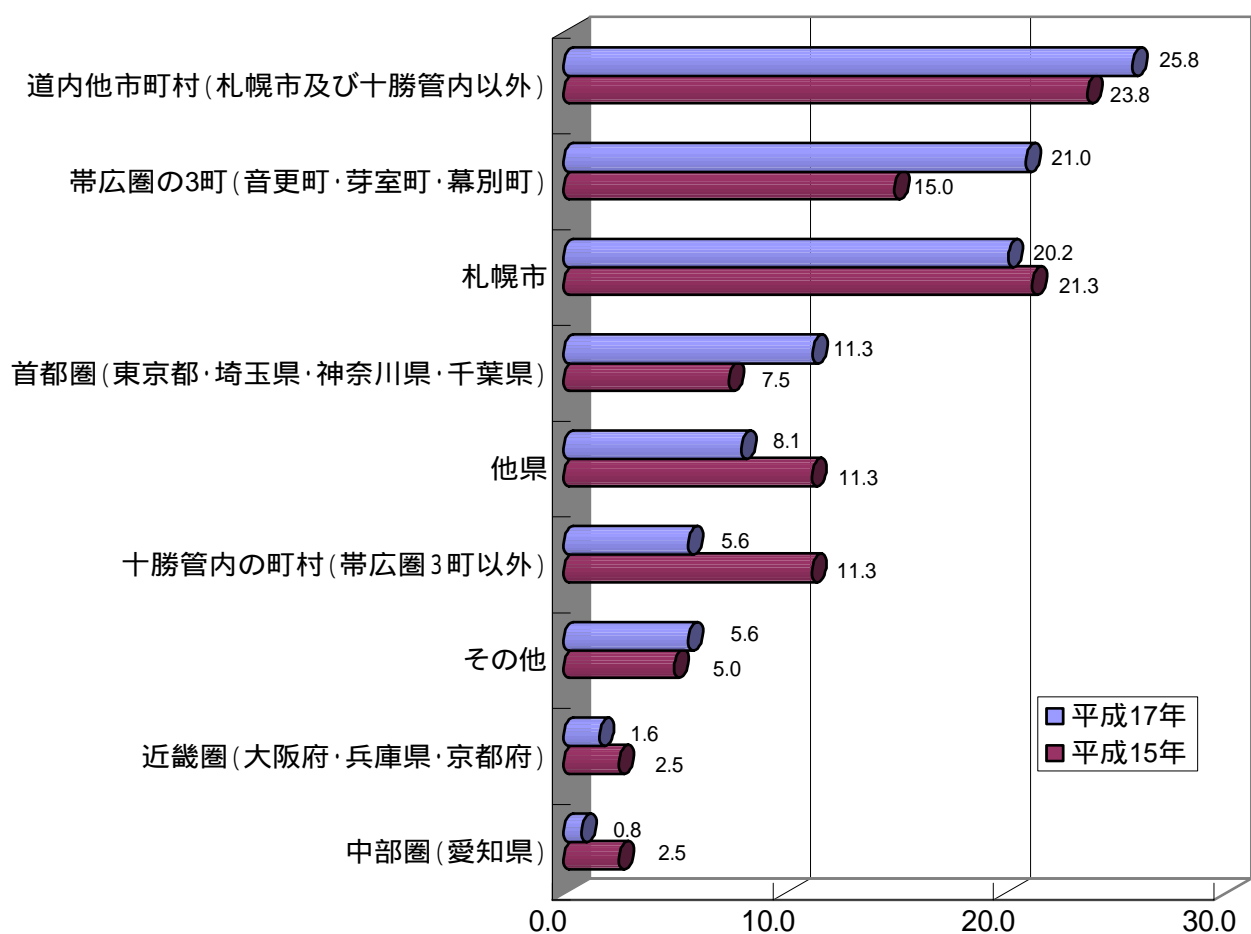
住み続けたい理由の多い順に、前回(平成15年)と比較した結果は、次のとおりである。



回答者数は671人で、「自然に恵まれているから」277人(41.3%)、「気候が好きだから」212人(31.6%)、「親戚や知人が多いから」192人(28.6%)と前回(H15)調査と順位の変更はないが、気候が好きだからが、7.4ポイント減少している。

## 問8 どこに移りたいか？

問6で「できれば他の市町村に移りたい」と答えた方(126人)にどこに移りたいかを9の選択肢からあてはまるものを1つ回答。  
 移りたい市町村の多い順に、前回(平成15年)と比較した結果は、次のとおりである。

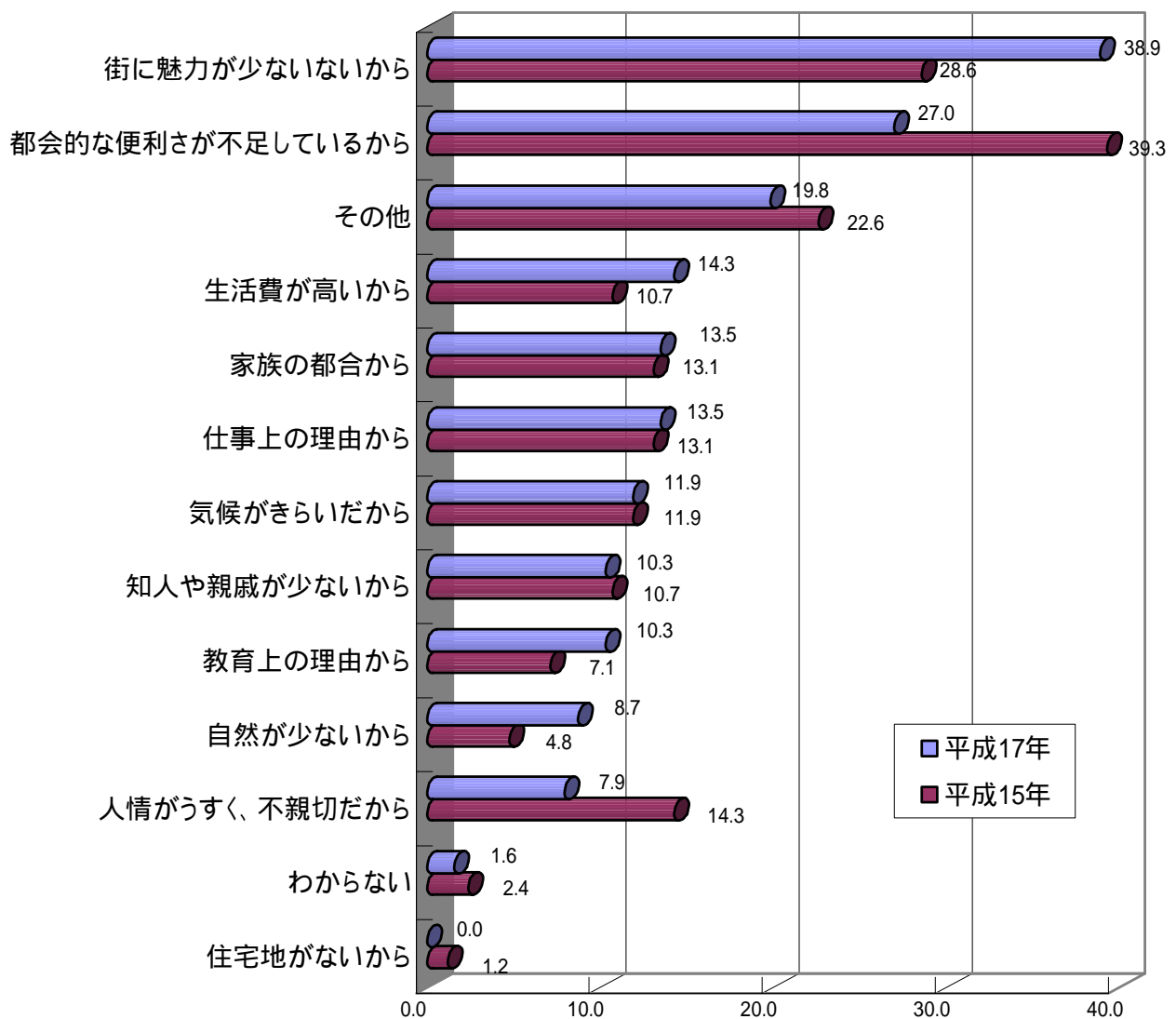


回答者数は124人で、「道内他市町村(札幌及び十勝管内以外)」32人(25.8%)、「帯広圏の3町(音更町・芽室町・幕別町)」26人(21.0%)、「札幌市」25人(20.2%)が上位となっている。

前回(H15)調査と比べ帯広圏3町は、6ポイント増え、札幌市を上回っている。

## 問9 移りたい理由？

問6で「できれば他の市町村に移りたい」と答えた方(126人)にその理由を13の選択肢から2つまで回答。  
移りたい理由の多い順に、前回(平成15年)と比較した結果は、次のとおりである。



回答者数は126人で、「街に魅力が少ないから」49人(38.9%)、「都会的な便利さが不足しているから」34人(27.0%)、「その他」25人(19.8%)が上位3つとなっている。

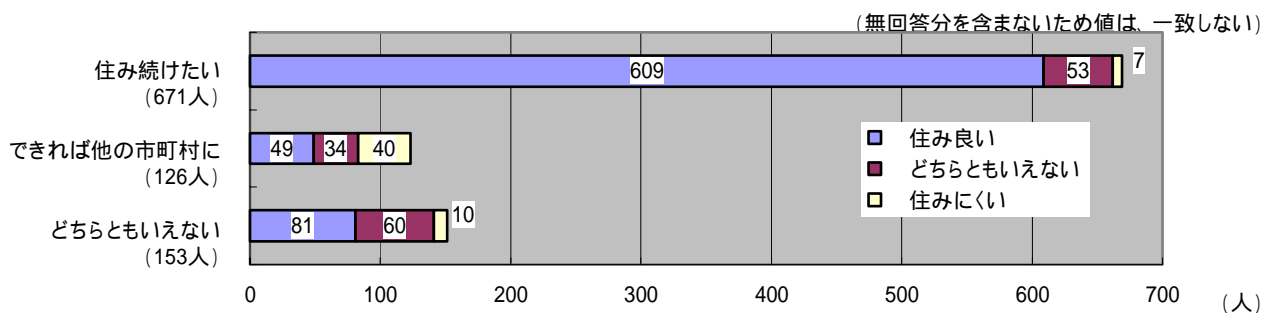
前回(H15)調査と比べ都会的な便利さが不足は12.3ポイント減少しているのに対し、街に魅力が少ないが、10.3ポイント増加している。

## 定住意識についての参考（問5～問9）

問5「帯広市の住みごちは？」と、問6「これからも帯広に住み続けたいと思いますか？」問7「住み続けたい理由？」、問8「どこに移りたいか？」、問9「移りたい理由？」について、その関係を分析した結果は、次のとおりである。

### 1 問5「住みごち」と問6「住み続けたいと思うか」の関係

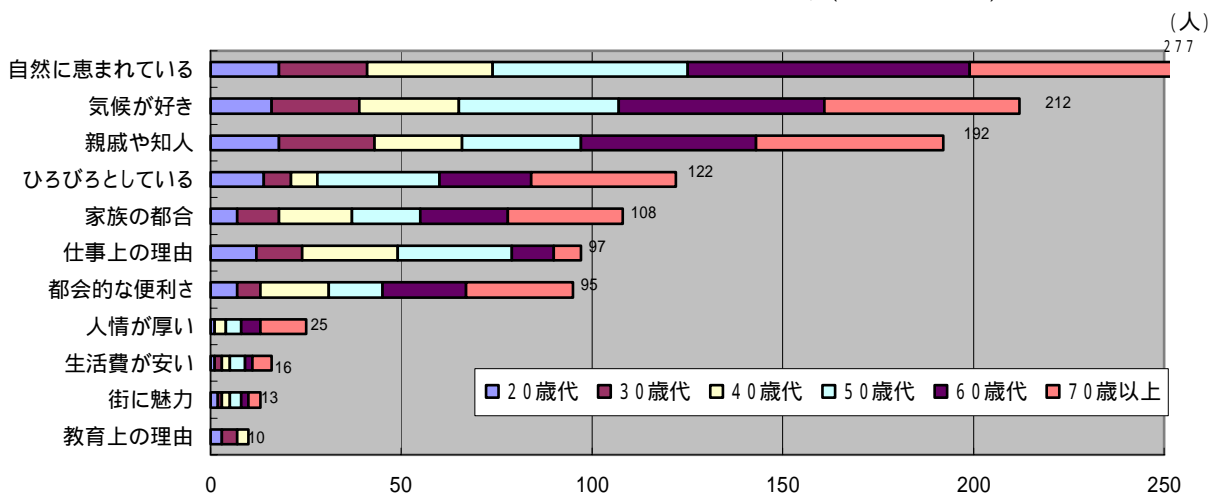
問5で、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」と回答した739人、「どちらともいえない」と回答した149人、「住みにくい」「どちらかといえばすみにくい」と回答した57人について、「これからも帯広市に住み続けたいと思うか？」を尋ねた。



年代別には、

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
住み続けたい	55	66	87	126	153	184	671
できれば移りたい	23	35	23	20	16	9	126
どちらともいえない	23	29	26	32	20	23	153
(住み続けたい割合)	54.5%	50.8%	64.0%	70.8%	81.0%	85.2%	70.6%

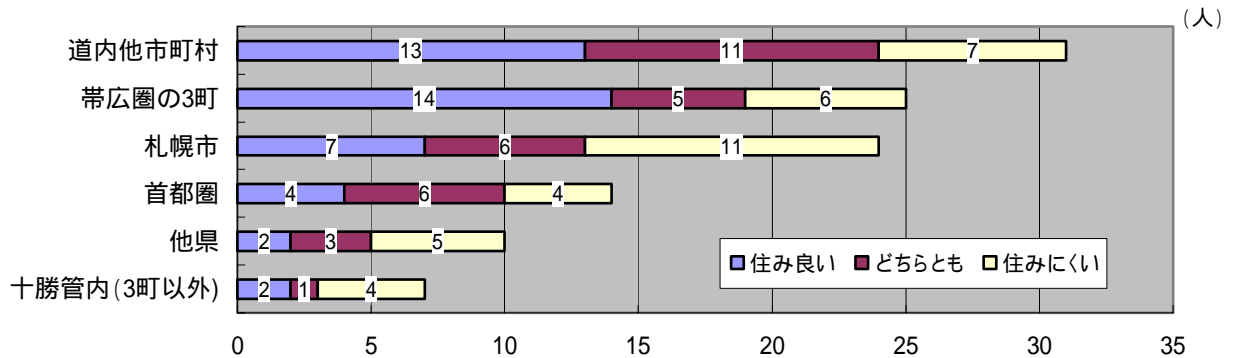
### 2 問6で「住み続けたい」と回答した671人に問7では「その理由」を尋ねた。(2つまで回答)



問5で「住み良い」と回答した82%、「どちらともいえない」とした36%、「住みにくい」とした12%が「帯広に住み続けたい」と回答し、年代が上がる程、その割合も高い。また、その理由としては、「自然に恵まれている」「気候が好き」がどの年代にも多いが40歳代、50歳代では「仕事の都合」の割合が高い。

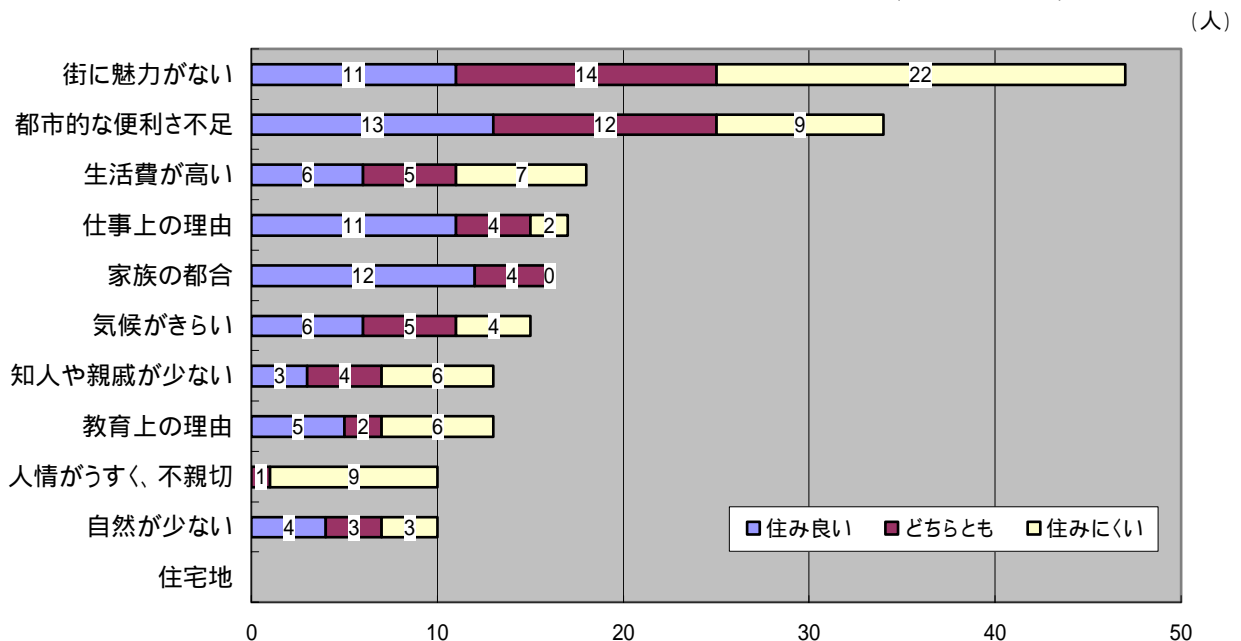
3 問6で「できれば移りたい」と回答した126人に問8では「どこに移りたいか」を尋ねた。

問6で「できれば他の市町村に移りたい」と回答した126人（問5での回答により「住み良い」「どちらかといえば住み良い」と回答49人 「どちらともいえない」と回答34人 「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答40人に分類）について、「どこに移りたいか？」を尋ねた。



・問5で「住み良い」 問6「他の市町村に移りたい」とした回答者が「どこに移りたいか？」の問で最も多い回答は、「帯広圏3町(音更・芽室・幕別)」、次いで「道内他市町村」である。同様に、問5「どちらともいえない」とした回答者は、「道内他市町村」、問5「住みにくい」とした回答者は、「札幌市」が最も多かった。

4 問6で「できれば移りたい」と回答した126人に問9では「その理由」を尋ねた。(2つまで回答)



・問5で「住み良い」と回答した約7%、「どちらともいえない」とした23%、「住みにくい」とした70%が「他の市町村に移りたい」とした回答した。「その理由」では、「街に魅力がない」「都会的な便利さが不足」が多いが、帯広が「住み良い」との回答者では、「家族の都合」「仕事上の理由」も理由の上位を占めている。また、「住みにくい」との回答者の「他の市町村に移りたい理由」としては、圧倒的に「街に魅力がない」が多く、「都会的な便利さが不足」「人情がうすく、不親切」続いている。

## 問10 具体的項目別満足度・重要度

### 1 まちづくりに関する具体的項目別の満足度・重要度

番号	個別項目の内容	満足度			重要度		
		満足%	不満足%	加重平均	重要%	非重要%	加重平均
1	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	21.6	42.4	-0.3119	83.1	5.8	1.2977
2	外国の人々と交流する機会があること	12.1	26.6	-0.2096	38.3	20.5	0.2069
3	大学があり高度な教育が受けられること	19.4	48.7	-0.4671	69.7	8.8	0.9190
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	44.8	12.5	0.4139	54.2	14.6	0.5576
5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	16.9	45.3	-0.4164	88.3	2.0	1.4905
6	地域の自然環境を大切に作る取り組みをすすめること	37.8	26.7	0.1163	82.2	2.7	1.2404
7	公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	59.1	23.0	0.4894	85.1	3.7	1.2056
8	とちぎ帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	31.7	43.1	-0.1963	72.9	5.2	0.9554
9	生涯を通して学習する機会があること	28.2	23.1	0.0484	62.9	4.1	0.7906
10	地元の資源や特性を活かして製品を作る企業があること	30.1	34.1	-0.0735	77.0	3.2	1.1341
11	農業についての体験や、知ることのできる機会があること	26.9	20.3	0.0826	51.5	7.0	0.6166
12	スポーツ活動などに参加する機会があること	36.5	17.7	0.2343	53.2	9.7	0.5740
13	市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	21.7	32.3	-0.1346	77.2	3.4	1.1470
14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	45.4	25.5	0.2667	87.5	1.6	1.4176
15	高齢者のための社会福祉施設が整備されていること	20.5	42.5	-0.3392	89.0	1.5	1.4605
16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活が出来ること	53.3	23.2	0.3621	90.9	1.5	1.4820
17	快適な環境の住宅地が供給されていること	44.3	22.1	0.2664	76.5	3.3	1.1401
18	市内におけるバス利用の便がよいこと	24.2	46.3	-0.3670	72.0	5.9	0.9735
19	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	10.7	50.0	-0.6012	80.5	1.8	1.2654
20	若者が魅力を感じることで出来る働く場があること	3.9	70.6	-1.0000	88.4	2.2	1.4886
21	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	31.2	29.9	-0.0094	59.9	6.3	0.7382
22	老後に生きがいを持った生活が出来ること	18.9	37.0	-0.2963	83.3	2.3	1.3177
23	リサイクルが行われ、環境を大切に作る地域づくりをすすめること	42.8	21.8	0.2225	84.6	1.5	1.3489
24	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	51.8	24.9	0.3037	81.1	2.9	1.1986
25	市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	17.1	22.5	-0.0817	61.7	3.7	0.7838
26	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などがあること	8.0	40.8	-0.4477	60.2	4.7	0.7917
27	小学校・中学校において充実した教育が受けられること	27.7	29.0	-0.0501	83.5	0.8	1.4111
28	生き生きとして働くことのできる場があること	13.0	50.0	-0.5401	86.2	2.0	1.4148
29	帯広の森で散歩したり、自然に親しんだりする機会があること	50.6	16.4	0.4365	65.8	6.8	0.8248
30	図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	24.9	35.1	-0.2019	67.8	4.8	0.9300
31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	53.8	20.5	0.4448	76.3	2.6	1.1324
32	行事・催し物や行政などの知りたい情報がすぐに手に入る事	32.9	26.0	0.0585	64.1	3.7	0.8510
33	安心して働けるために保育所などの環境が整備されていること	20.8	30.6	-0.1579	77.3	1.5	1.1966
34	障がいを持つ人のための社会福祉施設が整備されていること	13.0	39.4	-0.4002	81.8	1.6	1.3077
35	道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	11.8	19.7	-0.1241	55.8	6.7	0.7002
36	地元の自然や特産物を活かした観光資源があること	32.9	31.1	-0.0167	74.0	3.4	1.0630
37	身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	32.1	26.7	0.0571	63.7	6.4	0.7820
38	病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	49.5	30.3	0.2169	91.9	0.8	1.5933
39	雨水が適切に排水処理されていること	42.4	21.9	0.2617	77.6	2.4	1.2443
40	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	19.0	30.9	-0.1998	86.6	0.9	1.5345
41	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	17.2	13.5	0.0451	50.6	6.1	0.5964
42	身近なところの道路が整備されていること	45.1	33.0	0.1099	78.8	4.3	1.1370
43	十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	19.7	27.1	-0.1186	73.2	2.3	1.1245
44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	9.3	64.0	-0.8560	72.9	5.6	1.0507
45	街の中や郊外などに美しい景観が保たれていること	40.9	26.5	0.1527	76.3	2.1	1.1255
46	正しい消費者情報が得られ、相談が受けられること	16.8	29.8	-0.1844	69.0	2.4	0.9964
47	買いたいものが買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	35.0	38.3	-0.1112	72.7	4.3	1.0266
48	市役所の行財政改革が進められていること	12.4	47.6	-0.5835	80.8	2.2	1.3361
49	姉妹都市など国内の他都市との交流をする機会があること	14.3	17.1	-0.0644	40.9	11.3	0.3985
50	防犯など身近な地域の安全が保たれていること	19.8	41.3	-0.3400	89.9	1.0	1.5713

- (注) 1 満足度の「満足%」は、「満足している」「やや満足している」と回答した割合の合計であり、「不満足%」は、「不満足である」「やや不満足である」の合計である。
- 2 重要度の「重要%」は、「重要である」「やや重要である」と回答した割合の合計であり、「非重要%」は、「重要でない」「あまり重要ではない」の合計である。
- 3 満足度の加重平均は、「満足している」に+2、「やや満足している」に+1、「どちらとも言えない」±0、「やや不満足である」に-1、「不満足である」に-2を与えて、平均値を求めた。
- 4 重要度の加重平均は、「重要である」に+2、「やや重要である」に+1、「どちらとも言えない」±0、「あまり重要ではない」に-1、「重要でない」に-2を与えて、平均値を求めた。



## 2 満足度の比較と評価方法

### (1) 満足度の加重平均による順位

満足度の順位	個別項目の内容	満足度			重要度の順位
		満足%	不満足%	加重平均	
1	7 公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	59.1	23.0	0.4894	19
2	31 地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	53.8	20.5	0.4448	26
3	29 帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	50.6	16.4	0.4365	38
4	4 町内会などの地域活動に参加する機会があること	44.8	12.5	0.4139	48
5	16 大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	53.3	23.2	0.3621	6
6	24 道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	51.8	24.9	0.3037	20
7	14 病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	45.4	25.5	0.2667	8
8	17 快適な環境の住宅地が供給されていること	44.3	22.1	0.2664	23
9	39 雨水が適切に排水処理されていること	42.4	21.9	0.2617	17
10	12 スポーツ活動などに参加する機会があること	36.5	17.7	0.2343	47
11	23 リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること	42.8	21.8	0.2225	11
12	38 病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	49.5	30.3	0.2169	1
13	45 街の中や郊外などに美しい景観が保たれていること	40.9	26.5	0.1527	27
14	6 地域の自然環境を大切にす取り組みをすすめること	37.8	26.7	0.1163	18
15	42 身近なところの道路が整備されていること	45.1	33.0	0.1099	24
16	11 農業についての体験や、知ることのできる機会があること	26.9	20.3	0.0826	45
17	32 行事・催し物や行政などの知りたい情報がすぐに手に入ること	32.9	26.0	0.0585	37
18	37 身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	32.1	26.7	0.0571	42
19	9 生涯を通して学習する機会があること	28.2	23.1	0.0484	40
20	41 さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	17.2	13.5	0.0451	46
21	21 音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	31.2	29.9	-0.0094	43
22	36 地元の自然や特産物を活かした観光資源があること	32.9	31.1	-0.0167	29
23	27 小学校・中学校において充実した教育が受けられること	27.7	29.0	-0.0501	10
24	49 姉妹都市など国内の他都市との交流をする機会があること	14.3	17.1	-0.0644	49
25	10 地元の資源や特性を活かして製品を作る企業があること	30.1	34.1	-0.0735	25
26	25 市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	17.1	22.5	-0.0817	41
27	47 買いたいものが買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	35.0	38.3	-0.1112	31
28	43 十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	19.7	27.1	-0.1186	28
29	35 道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	11.8	19.7	-0.1241	44
30	13 市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	21.7	32.3	-0.1346	22
31	33 安心して働けるために保育所などの環境が整備されていること	20.8	30.6	-0.1579	21
32	46 正しい消費者情報が得られ、相談が受けられること	16.8	29.8	-0.1844	32
33	8 とかち帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	31.7	43.1	-0.1963	34
34	40 地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	19.0	30.9	-0.1998	3
35	30 図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	24.9	35.1	-0.2019	35
36	2 外国の人々と交流する機会があること	12.1	26.6	-0.2096	50
37	22 老後に生きがいを持った生活がおくれること	18.9	37.0	-0.2963	13
38	1 子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	21.6	42.4	-0.3119	15
39	15 高齢者のための社会福祉施設が整備されていること	20.5	42.5	-0.3392	7
40	50 防犯など身近な地域の安全が保たれていること	19.8	41.3	-0.3400	2
41	18 市内におけるバス利用の便がよいこと	24.2	46.3	-0.3670	33
42	34 障がいを持つ人のための社会福祉施設が整備されていること	13.0	39.4	-0.4002	14
43	5 老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	16.9	45.3	-0.4164	4
44	26 新しい技術やノウハウのある企業や研究所などがあること	8.0	40.8	-0.4477	39
45	3 大学があり高度な教育が受けられること	19.4	48.7	-0.4671	36
46	28 生き生きとして働くことのできる場があること	13.0	50.0	-0.5401	9
47	48 市役所の行財政改革が進められていること	12.4	47.6	-0.5835	12
48	19 行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	10.7	50.0	-0.6012	16
49	44 中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	9.3	64.0	-0.8560	30
50	20 若者が魅力を感じることで働く場があること	3.9	70.6	-1.0000	5

(2) 満足割合の高い10項目

まちづくりに関する具体的な項目において満足割合(「満足している」「やや満足している」と回答した割合の合計)が高い項目は、次のとおりである。

番号	個別項目の内容	満足%	不満足%	加重平均 及び順位
7	公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	59.1	23.0	0.4894 1
31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	53.8	20.5	0.4448 2
16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	53.3	23.2	0.3621 5
24	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	51.8	24.9	0.3037 6
29	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	50.6	16.4	0.4365 3
38	病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	49.5	30.3	0.2169 12
14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	45.4	25.5	0.2667 7
42	身近なところの道路が整備されていること	45.1	33.0	0.1099 15
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	44.8	12.5	0.4139 4
17	快適な環境の住宅地が供給されていること	44.3	22.1	0.2664 8

「7 公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること」及び「31 地元の農畜産物が地元で容易に購入できること」は、満足割合・加重平均ともに上位である。しかし、「38 病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること」及び「42 身近なところの道路が整備されていること」は、満足割合は高いが、不満足割合も多いため加重平均による順位は、低くなっている。

(3) 不満足割合の高い10項目

まちづくりに関する具体的な項目において不満足割合(「不満足である」「やや不満である」と回答した割合の合計)が高い項目は、次のとおりである。

番号	個別項目の内容	満足%	不満足%	加重平均 及び順位
20	若者が魅力を感じることで働く場があること	3.9	70.6	-1.0000 50
44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	9.3	64.0	-0.8560 49
28	生き生きとして働くことで働く場があること	13.0	50.0	-0.5401 46
19	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	10.7	50.0	-0.6012 48
3	大学があり高度な教育が受けられること	19.4	48.7	-0.4671 45
48	市役所の行財政改革が進められていること	12.4	47.6	-0.5835 47
18	市内におけるバス利用の便がよいこと	24.2	46.3	-0.3670 41
5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	16.9	45.3	-0.4164 43
8	とち帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	31.7	43.1	-0.1963 33
15	高齢者のための社会福祉施設が整備されていること	20.5	42.5	-0.3392 39

「20 若者が魅力を感じることで働く場があること」及び「44 中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること」は、不満足割合が高く、加重平均も下位である。しかし、「8 とち帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと」は、不満足割合は高いが、満足割合も多いことから加重平均による順位は33番目になっている。

(4) 満足度の評価方法

このように満足度を満足の割合、不満足の割合で比較するといずれか一方の評価となる。この報告書では、双方の割合を併せて評価することが可能な「加重平均」を用いて評価する。



### 3 重要度の比較と評価方法

#### (1) 重要度の加重平均による順位

重要度の順位	個別項目の内容	重要度			満足度の順位
		重要%	非重要%	加重平均	
1	38 病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	91.9	0.8	1.5933	12
2	50 防犯など身近な地域の安全が保たれていること	89.9	1.0	1.5713	40
3	40 地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	86.6	0.9	1.5345	34
4	5 老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	88.3	2.0	1.4905	43
5	20 若者が魅力を感じることでできる働く場があること	88.4	2.2	1.4886	50
6	16 大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	90.9	1.5	1.4820	5
7	15 高齢者のための社会福祉施設が整備されていること	89.0	1.5	1.4605	39
8	14 病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	87.5	1.6	1.4176	7
9	28 生き生きとして働くことのできる場があること	86.2	2.0	1.4148	46
10	27 小学校・中学校において充実した教育が受けられること	83.5	0.8	1.4111	23
11	23 リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること	84.6	1.5	1.3489	11
12	48 市役所の行財政改革が進められていること	80.8	2.2	1.3361	47
13	22 老後に生きがいを持った生活がおくれること	83.3	2.3	1.3177	37
14	34 障がいを持つ人のための社会福祉施設が整備されていること	81.8	1.6	1.3077	42
15	1 子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	83.1	5.8	1.2977	38
16	19 行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	80.5	1.8	1.2654	48
17	39 雨水が適切に排水処理されていること	77.6	2.4	1.2443	9
18	6 地域の自然環境を大切にす取り組みをすすめること	82.2	2.7	1.2404	14
19	7 公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	85.1	3.7	1.2056	1
20	24 道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	81.1	2.9	1.1986	6
21	33 安心して働けるために保育所などの環境が整備されていること	77.3	1.5	1.1966	31
22	13 市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	77.2	3.4	1.1470	30
23	17 快適な環境の住宅地が供給されていること	76.5	3.3	1.1401	8
24	42 身近なところの道路が整備されていること	78.8	4.3	1.1370	15
25	10 地元の資源や特性を活かして製品を作る企業があること	77.0	3.2	1.1341	25
26	31 地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	76.3	2.6	1.1324	2
27	45 街の中や郊外などに美しい景観が保たれていること	76.3	2.1	1.1255	13
28	43 十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	73.2	2.3	1.1245	28
29	36 地元の自然や特産物を活かした観光資源があること	74.0	3.4	1.0630	22
30	44 中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	72.9	5.6	1.0507	49
31	47 買いたいものが買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	72.7	4.3	1.0266	27
32	46 正しい消費者情報が得られ、相談が受けられること	69.0	2.4	0.9964	32
33	18 市内におけるバス利用の便がよいこと	72.0	5.9	0.9735	41
34	8 とかち帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	72.9	5.2	0.9554	33
35	30 図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	67.8	4.8	0.9300	35
36	3 大学があり高度な教育が受けられること	69.7	8.8	0.9190	45
37	32 行事・催し物や行政などの知りたい情報がすぐに手に入ること	64.1	3.7	0.8510	17
38	29 帯広の森で散歩したり、自然に親しんだりする機会があること	65.8	6.8	0.8248	3
39	26 新しい技術やノウハウのある企業や研究所などがあること	60.2	4.7	0.7917	44
40	9 生涯を通して学習する機会があること	62.9	4.1	0.7906	19
41	25 市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	61.7	3.7	0.7838	26
42	37 身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	63.7	6.4	0.7820	18
43	21 音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	59.9	6.3	0.7382	21
44	35 道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	55.8	6.7	0.7002	29
45	11 農業についての体験や、知ることのできる機会があること	51.5	7.0	0.6166	16
46	41 さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	50.6	6.1	0.5964	20
47	12 スポーツ活動などに参加する機会があること	53.2	9.7	0.5740	10
48	4 町内会などの地域活動に参加する機会があること	54.2	14.6	0.5576	4
49	49 姉妹都市など国内の他都市との交流をする機会があること	40.9	11.3	0.3985	24
50	2 外国の人々と交流する機会があること	38.3	20.5	0.2069	36

(2) 重要割合の高い10項目

まちづくりに関する具体的な項目において重要割合(「重要である」「やや重要である」と回答した割合の合計)が高い項目は、次のとおりである。

番号	個別項目の内容	重要%	非重要%	加重平均 及び順位
38	病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	91.9	0.8	1.5933 1
16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	90.9	1.5	1.4820 6
50	防犯など身近な地域の安全が保たれていること	89.9	1.0	1.5713 2
15	高齢者のための社会福祉施設が整備されていること	89.0	1.5	1.4605 7
20	若者が魅力を感じることでできる働く場があること	88.4	2.2	1.4886 5
5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	88.3	2.0	1.4905 4
14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	87.5	1.6	1.4176 8
40	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	86.6	0.9	1.5345 3
28	生き生きとして働くことでできる場があること	86.2	2.0	1.4148 9
7	公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	85.1	3.7	1.2056 19

「38 病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること」及び「50 防犯など身近な地域の安全が保たれていること」は、重要割合・加重平均ともに上位である。しかし、「7 公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること」は、重要割合は高いが、非重要割合も多いので加重平均による順位は19番目になっている。

(3) 非重要割合の高い10項目

まちづくりに関する具体的な項目において非重要割合(「重要でない」「あまり重要でない」と回答した割合の合計)の高い項目は、次のとおりである。

番号	個別項目の内容	重要%	非重要%	加重平均 及び順位
2	外国の人々と交流する機会があること	38.3	20.5	0.2069 50
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	54.2	14.6	0.5576 48
49	姉妹都市など国内の他都市との交流をする機会があること	40.9	11.3	0.3985 49
12	スポーツ活動などに参加する機会があること	53.2	9.7	0.5740 47
3	大学があり高度な教育が受けられること	69.7	8.8	0.9190 36
11	農業についての体験や、知ることのできる機会があること	51.5	7.0	0.6166 45
29	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	65.8	6.8	0.8248 38
35	道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	55.8	6.7	0.7002 44
37	身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	63.7	6.4	0.7820 42
21	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	59.9	6.3	0.7382 43

「2 外国の人々と交流する機会があること」及び「49 姉妹都市など国内の他都市との交流をする機会があること」は、非重要割合が多く・加重平均による順位も下位である。しかし、「3 大学があり高度な教育が受けられること」は、非重要割合は高いが、重要割合も多いので加重平均による順位は36番目になっている。

(4) 重要度の評価方法

このように重要度を重要の割合、非重要の割合で比較するといずれか一方の評価となる。この報告書では、双方の割合を併せて評価することが可能な「加重平均」を用いて評価する。

4 満足度・重要度の前回調査との比較

(1) 満足度の順位変動

順位	個別項目の内容		前回調査と比較した 順位の変動 5以上を で表示		前回(H15)	
			順位	番号	順位	番号
1	7	公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること			1	34
2	31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること			2	4
3	29	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること			3	7
4	4	町内会などの地域活動に参加する機会があること			4	29
5	16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること			5	31
6	24	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと			6	16
7	14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること			7	24
8	17	快適な環境の住宅地が供給されていること			8	14
9	39	雨水が適切に排水処理されていること			9	17
10	12	スポーツ活動などに参加する機会があること 【新規】			10	23
11	23	リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること			11	39
12	38	病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること			12	12
13	45	街の中や郊外などに美しい景観が保たれていること			13	6
14	6	地域の自然環境を大切にす取り組みをすすめること 【新規】			14	1
15	42	身近なところの道路が整備されていること			15	45
16	11	農業についての体験や、知ることのできる機会があること			16	38
17	32	行事・催し物や行政などの知りたい情報がすぐに手に入ること			17	42
18	37	身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること			18	32
19	9	生涯を通して学習する機会があること 【新規】			19	37
20	41	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること			20	27
21	21	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること			21	41
22	36	地元の自然や特産物を活かした観光資源があること 【新規】			22	11
23	27	小学校・中学校において充実した教育が受けられること			23	43
24	49	姉妹都市など国内の他都市との交流をする機会があること 【新規】			24	21
25	10	地元の資源や特性を活かして製品を作る企業があること			25	25
26	25	市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること			26	13
27	47	買いたいものが買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること			27	35
28	43	十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと			28	9
29	35	道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること 【新規】			29	40
30	13	市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること			30	8
31	33	安心して働けるために保育所などの環境が整備されていること			31	36
32	46	正しい消費者情報が得られ、相談が受けられること 【新規】			32	10
33	8	とかち帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと			33	33
34	40	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること			34	2
35	30	図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること			35	22
36	2	外国の人々と交流する機会があること			36	18
37	22	老後に生きがいを持った生活がおくれること			37	30
38	1	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと			38	15
39	15	高齢者のための社会福祉施設が整備されていること 【新規】			39	5
40	50	防犯など身近な地域の安全が保たれていること 【新規】			40	26
41	18	市内におけるバス利用の便がよいこと			41	19
42	34	障がいを持つ人のための社会福祉施設が整備されていること 【新規】			42	3
43	5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること			43	28
44	26	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などがあること			44	46
45	3	大学があり高度な教育が受けられること			45	44
46	28	生き生きとして働くことのできる場があること 【新規】			46	20
47	48	市役所の行財政改革が進められていること 【新規】				
48	19	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること				
49	44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること				
50	20	若者が魅力を感じることで働く場があること				

(2) 重要度の順位変動

順位	個別項目の内容	前回調査と比較した 順位の変動 5以上を で表示	前回 (H15)	
			順位	番号
1	38 病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること		1	38
2	50 防犯など身近な地域の安全が保たれていること 【新規】		2	46
3	40 地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること		3	16
4	5 老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること		4	40
5	20 若者が魅力を感じることでできる働く場があること		5	14
6	16 大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること		6	20
7	15 高齢者のための社会福祉施設が整備されていること 【新規】		7	5
8	14 病気予防のために、健診や相談、指導が受けられること		8	28
9	28 生き生きとして働くことのできる場があること 【新規】		9	15
10	27 小学校・中学校において充実した教育が受けられること		10	27
11	23 リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること		11	22
12	48 市役所の行財政改革が進められていること 【新規】		12	23
13	22 老後に生きがいを持った生活がおくれること		13	7
14	34 障がいを持つ人のための社会福祉施設が整備されていること 【新規】		14	19
15	1 子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと		15	39
16	19 行政に市民の声反映される機会が確保されていること		16	17
17	39 雨水が適切に排水処理されていること		17	24
18	6 地域の自然環境を大切にす取り組みをすすめること 【新規】		18	42
19	7 公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること		19	34
20	24 道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと		20	33
21	33 安心して働けるために保育所などの環境が整備されていること		21	13
22	13 市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること		22	43
23	17 快適な環境の住宅地が供給されていること		23	6
24	42 身近なところの道路が整備されていること		24	45
25	10 地元の資源や特性を活かして製品を作る企業があること		25	44
26	31 地元の農畜産物が地元で容易に購買できること		26	31
27	45 街の中や郊外などに美しい景観が保たれていること		27	10
28	43 十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと		28	8
29	36 地元の自然や特産物を活かした観光資源があること 【新規】		29	18
30	44 中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること		30	30
31	47 買いたいものが買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること		31	3
32	46 正しい消費者情報が得られ、相談が受けられること 【新規】		32	32
33	18 市内におけるバス利用の便がよいこと		33	9
34	8 とかち帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと		34	36
35	30 図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること		35	29
36	3 大学があり高度な教育が受けられること		36	25
37	32 行事・催し物や行政などの知りたい情報がすぐに手に入ること		37	26
38	29 帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること		38	1
39	26 新しい技術やノウハウのある企業や研究所などがあること		39	21
40	9 生涯を通して学習する機会があること 【新規】		40	37
41	25 市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること		41	12
42	37 身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること		42	11
43	21 音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること		43	35
44	35 道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること 【新規】		44	41
45	11 農業についての体験や、知ることのできる機会があること		45	4
46	41 さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること		46	2
47	12 スポーツ活動などに参加する機会があること 【新規】			
48	4 町内会などの地域活動に参加する機会があること			
49	49 姉妹都市など国内の他都市との交流をする機会があること 【新規】			
50	2 外国の人々と交流する機会があること			



5 満足度・重要度順位の組み合わせによる評価

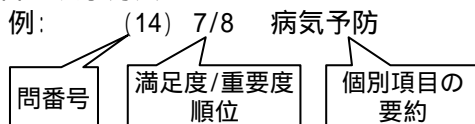
問10の各問について、項目ごとの全体の中での位置を分かりやすく示すため満足度・重要度の加重平均順位により全体を3区分で分けたものが以下の表です。

上：満足度・重要度の高い区分、 1位～16位  
 中： " " 中程度区分、 17位～34位  
 下： " " 低い区分、 35位～50位

組み合わせは、満足度・重要度とともに上の【上-上】からともに下の【下-下】までの9区分となる。満足度の区分(上・中・下)を縦に、重要度の区分を横にして整理した。

	重要度(上)1～16位	重要度(中)17～34位	重要度(下)35～50位
満足度(上)1～16位	上-上	上-中	上-下
	(14) 7/8 病気予防	(6) 14/18 地域の自然	(4) 4/48 町内会活動
	(16) 5/6 大気汚染	(7) 1/19 公園・広場	(11) 16/45 農業体験
	(23) 11/11 リサイクル	(17) 8/23 住宅地供給	(12) 10/47 スポーツ活動
	(38) 12/1 病気・ケガ	(24) 6/20 道内各地へ	(29) 3/38 帯広の森
		(31) 2/26 地元農産物	
		(39) 9/17 雨排水	
		(42) 15/24 身近な道路	
		(45) 13/27 美しい景観	
満足度(中)17～34位	中-上	中-中	中-下
	(27) 23/10 小・中学校	(8) 33/34 帯広空港より	(9) 19/40 生涯学習
	(40) 34/3 防災	(10) 25/25 地元の資源	(21) 21/43 音楽・芸術
		(13) 30/22 市民助け合い	(25) 26/41 市民・まちづくり
		(33) 31/21 保育所	(32) 17/37 地域情報
		(36) 22/29 観光資源	(35) 29/44 道東との交流
		(43) 28/28 市町村連携	(37) 18/42 地域活動
		(46) 32/32 消費者情報	(41) 20/46 ボランティア
		(47) 27/31 買い物・魅力店	(49) 24/49 姉妹都市
満足度(下)35～50位	下-上	下-中	下-下
	(1) 38/15 交通安全	(18) 41/33 バス利便	(2) 36/50 外国人との交流
	(5) 43/4 老後・福祉サービス	(44) 49/30 中心部にぎわい	(3) 45/36 大学
	(15) 39/7 高齢者施設		(26) 44/39 新技術・研究所
	(19) 48/16 市民参加		(30) 35/35 図書館
	(20) 50/5 若者・働く場		
	(22) 37/13 老後にいきがい		
	(28) 46/9 働く場		
	(34) 42/14 障がい者施設		
	(48) 47/12 行財政改革		
(50) 40/2 地域の安全			

項目の表示方法



個別項目の内容については、本頁以降要約し記載します。

表中、前回(H15)との比較で、満足度および重要度の区分が同じとなった問については、網掛けで表示。(問番号)を で囲んでいる設問(8問)は、今回調査で新たに設定した項目である。

(参考:平成15年調査結果)

前回(平成15年)の調査結果についても同様に分類する。

上:満足度・重要度の高い区分、1位~15位  
 中: " " 中程度区分、16位~31位  
 下: " " 低い区分、32位~46位

組み合わせは、満足度・重要度とともに上の【上-上】からともに下の【下-下】までの9区分となる。  
 満足度の区分(上・中・下)を縦に、重要度の区分を横に整理すると次の表のとおりとなる。

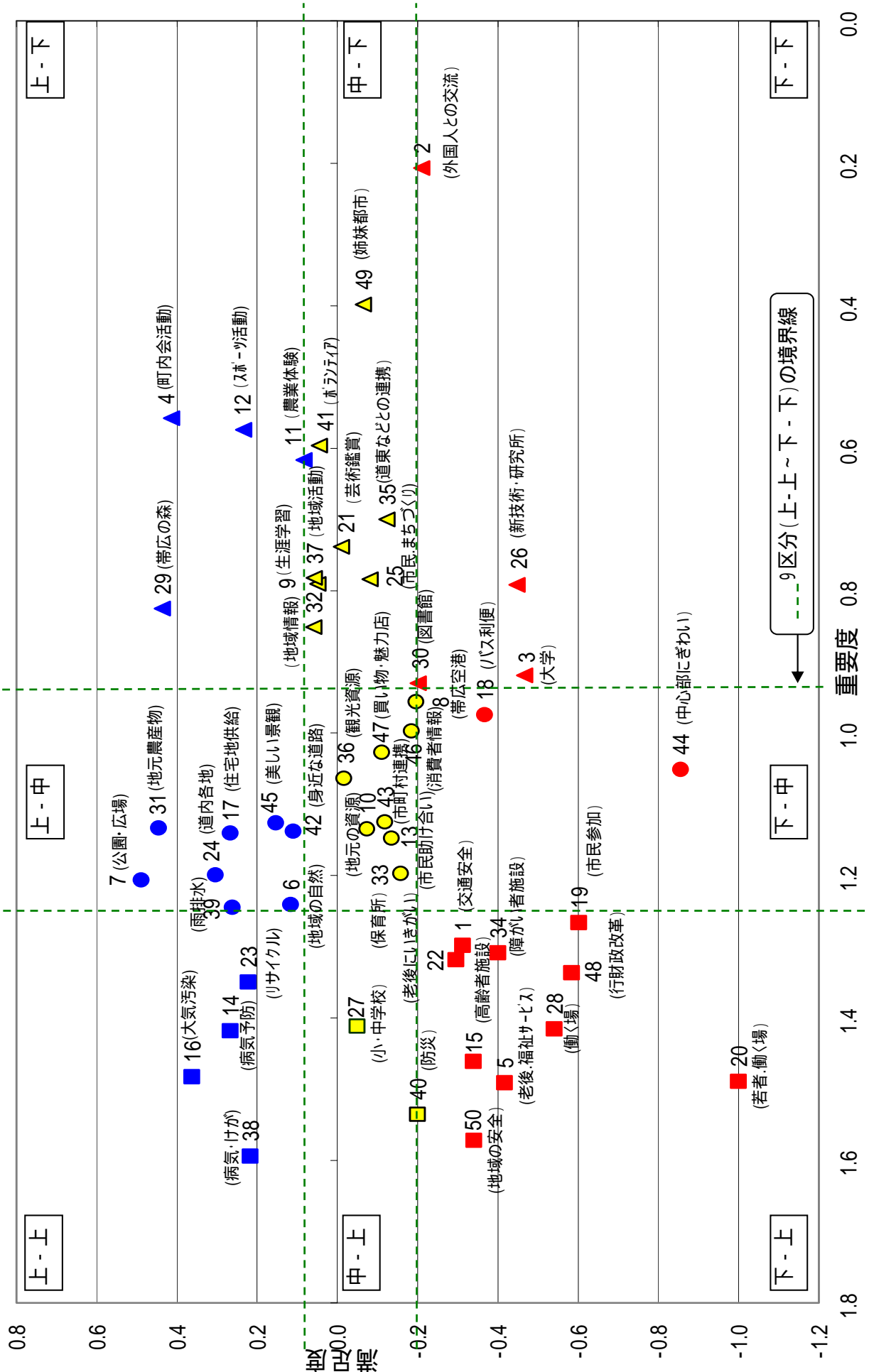
(問番号) 満足度 / 重要度順位

	重要度(上)1~15位	重要度(中)16~31位	重要度(下)32~46位
満足度(上)1~15位	上-上 (7) 3/13 公園・広場 (14) 8/5 病気予防 (16) 6/3 大気汚染 (23) 10/12 リサイクル (39) 11/15 雨排水	上-中 (6) 13/23 地域の自然 (17) 9/16 住宅地供給 (24) 7/17 道内各地へ (31) 5/26 地元農産物 (34) 1/19 公園..緑 (45) 15/24 美しい景観	上-下 (1) 14/38 買い物・魅力店 (4) 2/45 町内会活動 (12) 12/41 生涯学習・スポーツ (29) 4/35 帯広の森
	中-上 (27) 20/10 小・中学校 (38) 16/1 病気・ケガ (40) 29/4 防災	中-中 (8) 30/28 帯広空港より (13) 26/21 市民助け合い (42) 17/18 身近な道路 (43) 23/22 十勝市町村連携	中-下 (9) 28/33 近隣市町村連携 (11) 22/42 農業体験 (21) 24/39 音楽・芸術 (25) 25/36 市民・まちづくり (32) 18/32 地域情報 (35) 27/43 釧路などとの交流 (36) 31/34 楽しみ・レジャー (37) 19/40 地域活動 (41) 21/44 ボランティア
	下-上 (5) 39/7 老後・福祉サービス (15) 38/9 社会福祉施設 (19) 41/14 市民参加 (20) 46/6 若者..働く場 (22) 35/11 老後にいきがい (28) 43/8 働く場 (46) 44/2 交通安全	下-中 (3) 42/31 大学 (10) 32/27 地元の資源 (18) 36/29 市内バス利便 (30) 37/30 図書館 (33) 33/20 保育所 (44) 45/25 中心部にぎわい	下-下 (2) 34/46 外国人との交流 (26) 40/37 新技術・研究所集積

(問番号) 満足度 / 重要度順位

表中、今回調査(H17)との比較で、満足度および重要度の区分が同じとなった問については、網掛けで表示。  
 (問番号)を で囲んでいる設問(4問)は、今回調査で削除した項目である。

問10 満足度 vs 重要度 (H17散布図)



## 6 組み合わせによる評価と年代別(地区別)の評価

満足度・重要度の組み合わせによる評価を次の方法で分類する。

【9区分】	満足度・重要度の前回調査との比較 上昇、下降、横ばい 今回の順位
区分該当項目の(番号)及び設問 各設問について前回調査との満足度・重要度区分の比較	年代別(地区別)の 満足度・重要度グラフ
共通分類	
共通分類の満足度・重要度評価	

### 【上 - 上】 満足度が高く、重要度も高い

設問の事項に対して、現在満足しており、今後とも重要であるとする評価

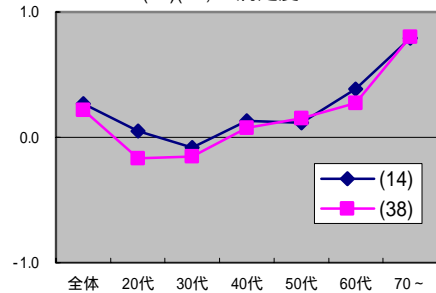
今回の調査では、	満足度	重要度
(14) 病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	7	8
(16) 大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	5	6
(23) リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること	11	11
(38) 病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	12	1

であった。このうち(14)、(16)、(23)は、前回と区分の移動はない。  
(38)は、満足度の区分が上がっている。

#### 保健・医療

保健・医療に関する2つの設問、(14)病気予防、(38)病気・けがは、「満足度」「重要度」とも高い結果となっている。年代別に見ると、いずれの設問も「満足度」は年代が上がるほど高い評価であり、「重要度」は全ての年代で高い結果である。

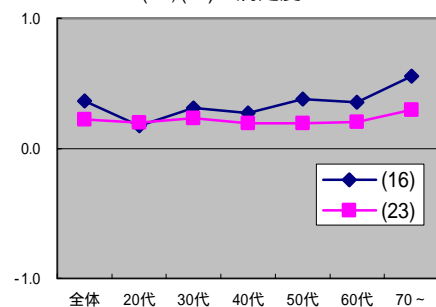
(14)(38)の満足度



#### 環境の保全

(16)大気汚染、(23)リサイクルに関する設問では、「満足度」「重要度」とも高い評価となっている。「重要度」は、どちらの設問も年代による大きな違いは見られない。「満足度」では、(16)で年代が上がる程高い評価となっているが、(23)はどの年代からも同程度の評価となっている。

(16)(23)の満足度



### 【上 - 中】 満足度が高く、重要度は中程度

設問の事項に対して、現在満足しており、今後の重要度は中程度とする評価

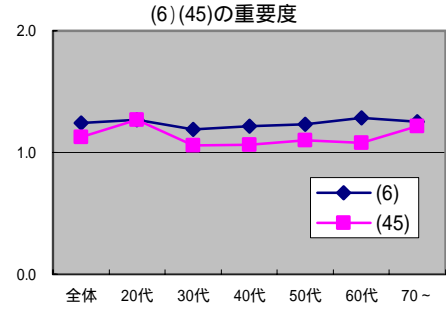
今回の調査では、	満足度	重要度
(6) 地域の自然環境を大切にす取り組みをすすめること	14	18
(7) 公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	1	19
(17) 快適な環境の住宅地が供給されていること	8	23
(24) 道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	6	20
(31) 地元の農畜産物が地元で容易に購買できること	2	26
(39) 雨水が適切に排水処理されていること	9	17
(42) 身近なところの道路が整備されていること	15	24
(45) 街の中や郊外などに美しい景観が保たれていること	13	27

であった。このうち(6)、(17)、(24)、(31)、(45)は、前回と区分の移動はない。  
(7)、(39)は、満足度の区分に移動はないが、重要度が下がり(42)は、満足度が上がっている。



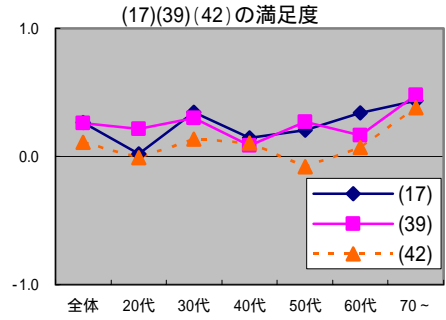
自然環境・景観

(6)地域の自然環境や(45)景観に対する設問について、「満足度」は、全体では高い評価であるが50歳代が他の年代より低い傾向が現れている。また2つの設問とも「重要度」は、中程度の評価であるが、若年者層で重要とする割合が他の年代より高い結果となっている。

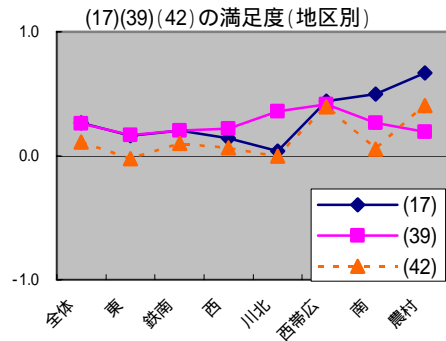


居住環境

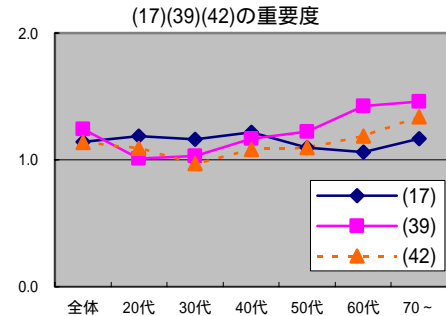
生活道路や住宅地など住居環境に関する3つの設問、(17)住宅地供給、(39)雨排水、(42)身近な道路に関する設問では、「満足度」は、全体としては上位に位置しているが(17)と(42)では各年代による評価の違いが出ている。(17)では、20歳代が低く、30歳代、60歳代、70歳代で高い傾向がある。また(42)については、50歳代が他の各年代より「満足度」が低い結果となっている。



地区別の「満足度」では、(17)住宅地供給は、川北地区で他の地域より低く、南地区、農村地区で高い結果である。また(42)身近な道路は、西帯広地区、農村地区で評価が高く、(39)雨排水については、地域による大きな違いは見られない。



同じ3つの設問に対する「重要度」は、中程度にあるが、(17)住宅地供給に対する評価については、50歳代、60歳代が他の年代より低く、(39)雨排水では、20歳代、30歳代、(42)身近な道路に関する設問では、30歳代、40歳代が若干低い結果となっている。



【上 - 下】 満足度が高く、重要度は低い

設問の事項に対して、現在満足しており、今後の重要度は低いとする評価

今回の調査では、

- (4) 町内会などの地域活動に参加する機会があること
- (11) 農業についての体験や、知ることのできる機会があること
- (12) スポーツ活動などに参加する機会があること
- (29) 帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること

	満足度	重要度
(4)	4	48
(11)	16	45
(12)	10	47
(29)	3	38

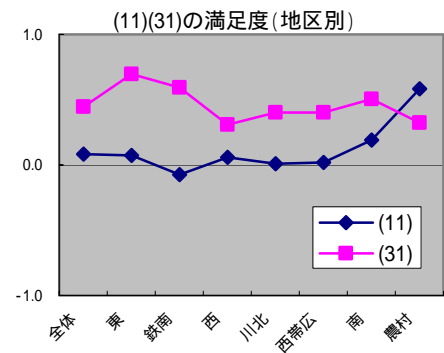
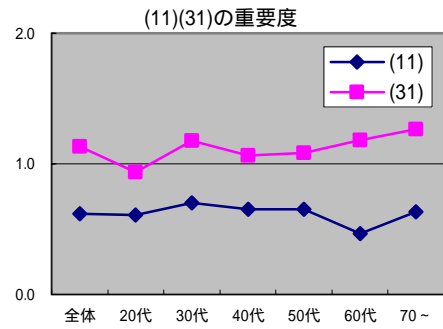
であった。このうち(4)、(29)は、前回と区分の移動はない。

(11)は、満足度の区分が上がっている。(12)は、今回新たに設定した項目である。

農業・農畜産物（農畜産物は【上 - 中】である）

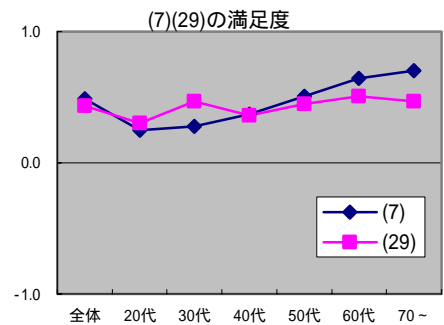
(11)農業体験に関する設問では、「満足度」は高いが、「重要度」は、低い結果となっている。この傾向は(31)地元農産物【上 - 中】についても同様の結果がうかがえる。(31)については、「満足度」は、2位と非常に高い結果となっているが「重要度」は、中程度の評価であり、20歳代で低く、高齢者層で高い傾向である。また(11)に対する「重要度」は、各年代とも低く特に60歳代が最も低い結果となっている。

また、同じ2つの設問について地区別の「満足度」は、(11)では、南地区・農村地区で高くなっている。(31)では、東地区、鉄南地区で「満足度」は高いが、西地区、農村地区で低い結果となっている。また、「重要度」は、(11)について農村地区で高いが、他の地区では低い評価である。(31)は、地区による評価の大きな違いは見られない。



緑の環境（公園・広場は【上 - 中】である）

(7)公園・広場【上 - 中】、(29)帯広の森の緑化環境に関する設問では、「満足度」は非常に高い評価となっている。いずれも年代別に見ると若年者層が低く、年代が上がるにつれ高い傾向にあるが、どの年代とも「満足度」は、上位に位置している。しかし「重要度」は、(7)は、中程度であるが、(29)は下位となっている。



【中 - 上】 満足度が中程度で、重要度は高い

設問の事項に対して、現在の満足度は中程度であり、今後の重要度は高いとする評価

今回の調査では、

(27) 小学校・中学校において充実した教育が受けられること

満足度 重要度

23 10

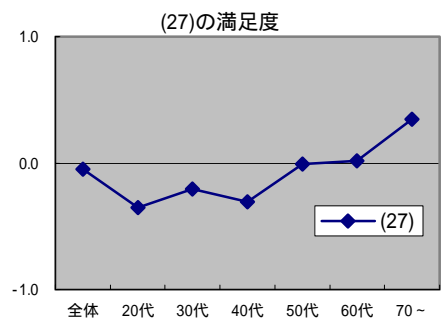
(40) 地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること

34 3

であった。この2つの設問は、前回と区分の移動はない。

学校教育

(27)小・中学校に関する設問では、全体の「満足度」は、中程度であるが年代別の評価では、20歳～40歳代までは下位にあり、70歳以上では、上位に位置しており、年代による「満足度」の結果に大きな違いがある。一方「重要度」は、20歳代は、中程度であるが、他の年代では、全て上位となっている。



【中 - 中】 満足度が中程度で、重要度も中程度

設問の事項に対して、現在の満足度は中程度であり、今後の重要度も中程度とする評価

今回の調査では、

	満足度	重要度
(8) とかち帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	33	34
(10) 地元の資源や特性を活かして製品を作る企業があること	25	25
(13) 市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	30	22
(33) 安心して働けるために保育所などの環境が整備されていること	31	21
(36) 地元の自然や特産物を活かした観光資源があること (前回の設問:手軽に楽しめる観光・レジャー施設やイベントを楽しむ機会があること)	22	29
(43) 十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	28	28
(46) 正しい消費者情報が得られ、相談が受けられること	32	32
(47) 買いたいものが買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	27	31

であった。このうち(8)、(13)、(43)は、前回と区分の移動はない。

(10)、(33)は、満足度の区分が上がり、(36)は、重要度の区分が上がっている。

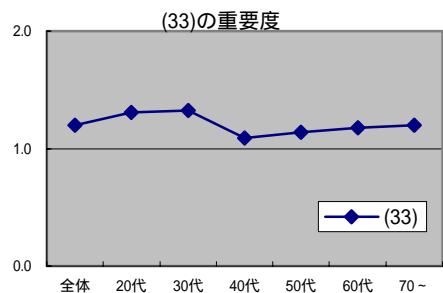
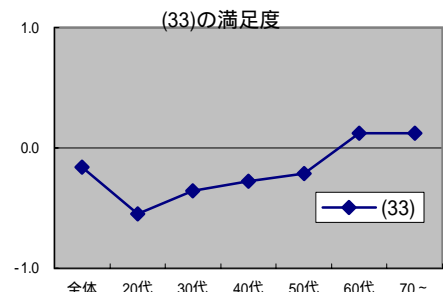
(47)は、満足度の区分が下がり、重要度の区分は上がっている。

(46)は、今回新たに設定した項目である。

保育施設

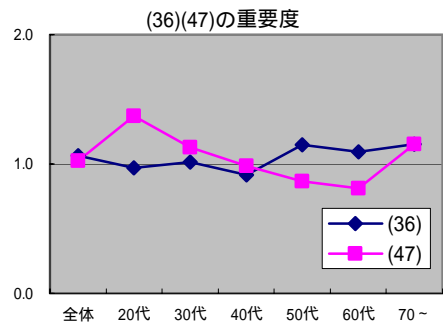
(33)保育所に関する設問では、「満足度」は、中程度にあるが年代別の評価では、20歳～50歳代までは下位にあり、60歳代、70歳以上では、比較的上位に位置している。学校教育同様に年代による「満足度」の評価に違いがある。

一方、(33)保育所に関する「重要度」についても、全体では中程度の結果であるが、「満足度」の評価の低い20歳代、30歳代のでは、「重要度」は高くなっている。



観光・消費活動

(36)観光資源、(47)買い物、魅力店に関する設問では、「満足度」「重要度」ともに中程度の評価であった。年代別に「満足度」を見ると(36)については、40歳代が低く、70歳以上が高い評価となり、(47)は、20～30歳代が低く、60歳代、70歳以上が高い評価になっている。また「重要度」は、(36)は、年代による大きな差はないが、(47)では、20歳代が高く、50～60歳代では、低い結果になっている。



【中 - 下】 満足度が中程度で、重要度は低い

設問の事項に対して、現在の満足度は中程度であり、今後の重要度は低いとする評価

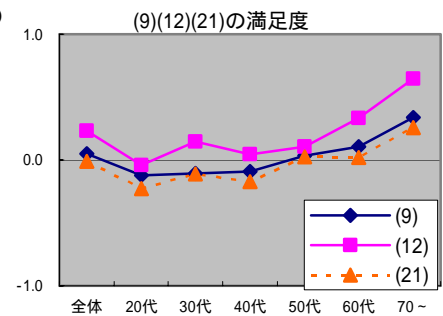
今回の調査では、

	満足度	重要度
(9) 生涯を通して学習する機会があること	19	40
(21) 音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	21	43
(25) 市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	26	41
(32) 行事・催し物や行政などの知りたい情報がすぐに手に入る事	17	37
(35) 道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	29	44
(37) 身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	18	42
(41) さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	20	46
(49) 姉妹都市など国内の他都市との交流をする機会があること	24	49

であった。このうち(21)、(25)、(32)、(35)、(37)、(41)は、前回と区分の移動はない。(9)、(49)は、今回新たに設定した項目である。

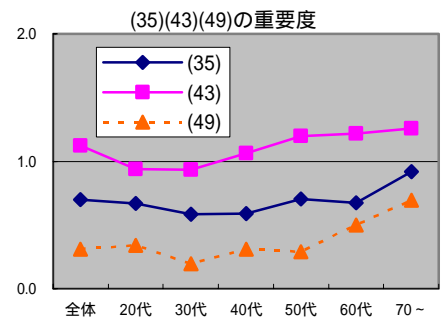
生涯学習・文化・スポーツ活動（スポーツ活動は【上 - 下】である）

生涯学習に関する3つの設問(9)生涯学習、(12)スポーツ活動【上 - 下】、(21)音楽・芸術の設問では、「満足度」は、全体では、上位から中程度の評価であるが、年代別にみると若年者層に低く、高齢者層に高い傾向が見られる。また「重要度」は、いずれの設問とも全ての年代で低い結果となっている。



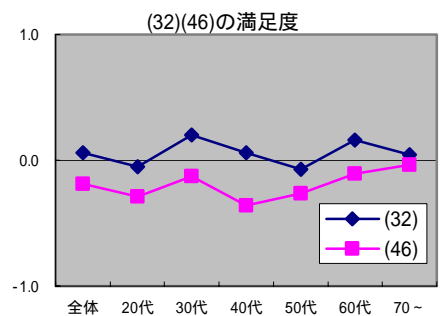
地域連携・交流（十勝管内の連携は【中 - 中】である）

他地域との連携・交流に関する3つの設問、(35)道東との連携、(43)市町村連携【中 - 中】、(49)姉妹都市についての「満足度」は、いずれも中程度であるが、年代別にみると若年者層に低く、高齢者層に高い傾向が見られる。また「重要度」は、(43)は中程度であるが、(35)(49)は低い結果になっている。(49)は70歳以上で高い評価である。



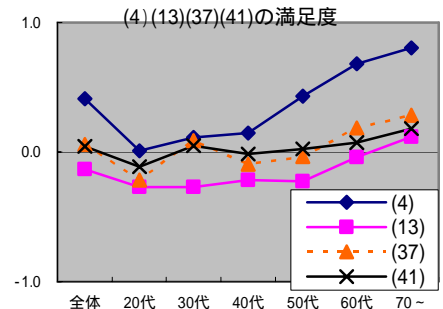
情報の提供（消費者情報は【中 - 中】である）

情報の提供に関する(32)地域情報、(46)消費者情報【中 - 中】についての「満足度」は、いずれも中程度であるが年代別には(32)は、30歳代、60歳代の評価が高く、(46)は、20歳代、40～50歳代で低くなっている。また「重要度」は、(32)は低く、(46)では、中程度の結果となっている。



地域活動・ボランティア活動（町内会活動は【上 - 下】、市民助け合いは【中 - 下】である）

(4)町内会活動【上 - 下】、(13)市民助け合い【中 - 下】、(37)地域活動、(41)ボランティア活動に関する設問の「満足度」では、(4)は高齢者層の評価が極めて高く上位であるが他の3つは中程度である。(37)は、20歳代では下位、60歳代、70歳以上では上位の評価である。「重要度」は、いずれも低い結果であるが、(41)で20歳代が他の年代より高い結果となっている。



【下 - 上】 満足度が低く、重要度は高い

設問の事項に対して、現在の満足度が低く、今後の重要度は高いとする評価

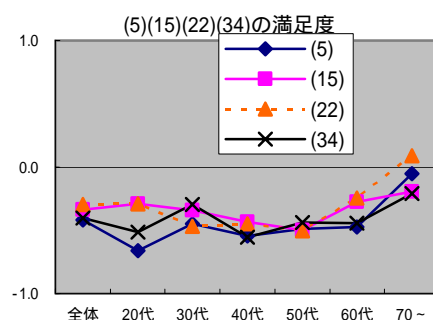
今回の調査では、

	満足度	重要度
(1) 子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	38	15
(5) 老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	43	4
(15) 高齢者のための社会福祉施設が整備されていること	39	7
(19) 行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	48	16
(20) 若者が魅力を感じることで働く場があること	50	5
(22) 老後に生きがいを持った生活がおくれること	37	13
(28) 生き生きとして働くことで働く場があること	46	9
(34) 障がいを持つ人のための社会福祉施設が整備されていること	42	14
(48) 市役所の行財政改革が進められていること	47	12
(50) 防犯など身近な地域の安全が保たれていること	40	2

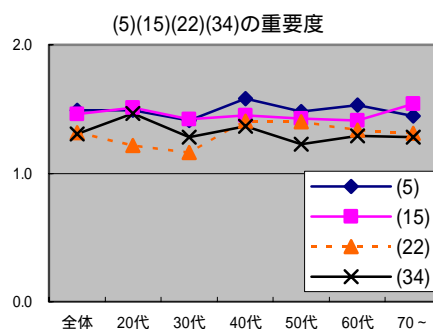
であった。このうち(1)、(5)、(19)、(20)、(22)、(28)は、前回と区分の移動はない。  
(15)、(34)、(48)、(50)は、今回新たに設定した項目である。

福祉（高齢者・障がい者・老後）

福祉政策に関する4つの設問、(5)老後・福祉サービス、(15)高齢者施設、(22)老後にいきがい、(34)障がい者施設では、いずれの設問も「満足度」は、低い評価となっている。年代別には、(5)(34)では、20歳代、40歳代の評価が他の年代より低く、(15)(22)では、50歳代が最も低い評価となっている。70歳以上の年代では、4つの設問ともに他の年代より「満足度」が高い。

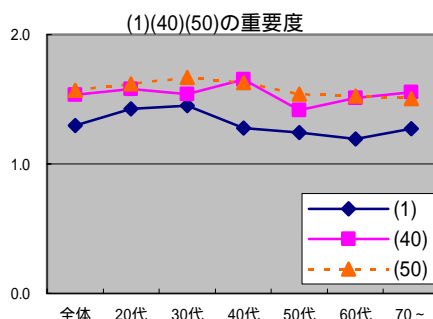


また、4つの設問に対する「重要度」は、全体ではいずれも高い結果となっているが、年齢別には、(22)老後にいきがいの設問で、20歳代、30歳代が、(34)障がい者施設の設問では、50歳代が中程度の結果となっている。



防犯・防災・交通安全（防災は【中 - 上】である）

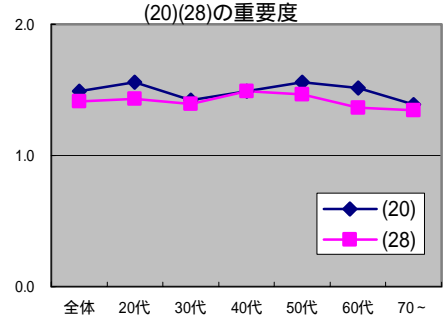
(1)交通安全、(40)防災【中 - 上】、(50)地域の安全に関する設問では、「満足度」は、(40)で中程度であったが、(1)(50)では、下位の評価となっている。「重要度」は、3つの設問とも高く関心の高さがうかがえる。年代別にみると(40)(50)は、いずれの年代も高い結果であり、(1)については、20歳代、30歳代で重要とする割合が高く、高齢者層で中程度の結果である。





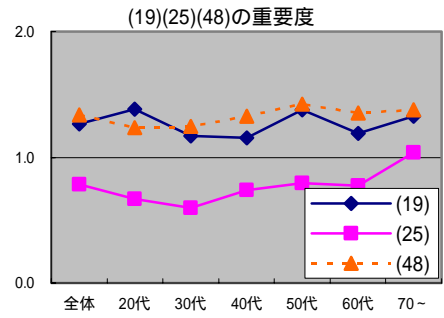
雇用の拡大・確保

雇用に関する(20)若者の働く場、(28)働く場についての「満足度」は、いずれの年代も低い評価である。一方「重要度」は高く、(20)は、いずれの年代でも重要とする回答が得られているが、特に20歳代が高い結果となっている。



市民協働・行財政改革（市民・まちづくりは【中-下】である）

行政に関する設問、(19)市民参加、(25)市民・まちづくり、(48)行財政改革についての「満足度」は、(25)は中程度であるが、(19)(48)は、いずれの年代も極めて低い評価である。一方「重要度」については、(19)(48)に上位である。(19)は20歳代、50歳代、70歳以上で高く、他の年代では、中程度の結果である。また(48)は、年代別の大きな違いは見られない。(25)は特に若年者層で低い結果となっている。



【下 - 中】 満足度が低く、重要度は中程度

設問の事項に対して、現在の満足度が低く、今後の重要度は中程度とする評価

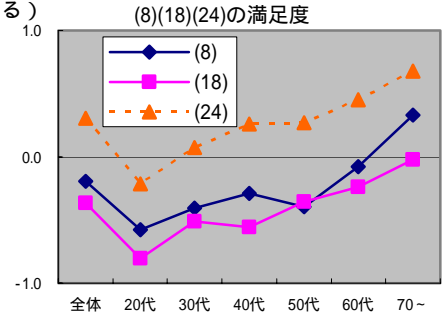
今回の調査では、

	満足度	重要度
(18) 市内におけるバス利用の便がよいこと	41	33
(44) 中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	49	30

であった。この2つの設問は、前回と区分の移動はない。

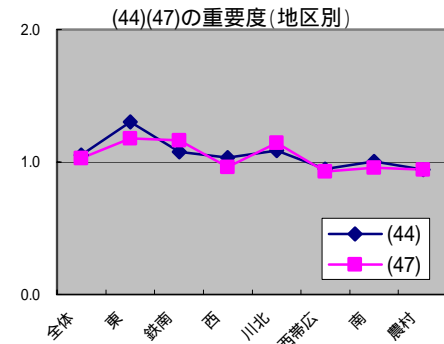
交通体系（とちぎ帯広空港は【中 - 中】、道内各地へは【上 - 中】である）

交通体系に関する3つの設問、(8)とちぎ帯広空港【中 - 中】、(18)バス利便、(24)道内各地へ【上 - 中】についての「満足度」は、(24)は上位、(8)は中程度、(18)は下位の評価であるが、年代別に見ると20歳代の評価が最も低く、年代が上がるにつれて「満足度」も上がる同様の傾向がある。また「重要度」は、いずれも中程度であるが、(18)では70歳以上、(24)では20歳代と70歳以上で上位の結果となっている。



中心市街地（買い物・魅力店は【中 - 中】である）

中心市街地に関する設問、(44)中心部ににぎわい、(47)買い物・魅力店【中 - 中】の「重要度」については、全体では中程度の結果である。この2つの設問について地区別の結果を見ると、ともに東地区が他の地域より高い結果となっている。



【下 - 下】 満足度が低く、重要度も低い

設問の事項に対して、現在の満足度が低く、今後の重要度も低いとする評価

今回の調査では、

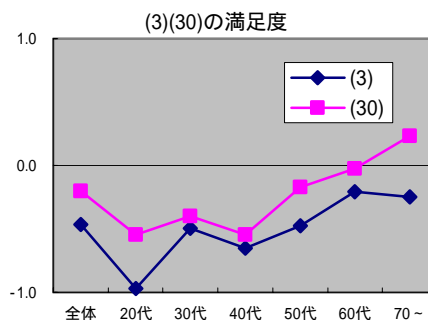
	満足度	重要度
(2) 外国の人々と交流する機会があること	36	50
(3) 大学があり高度な教育が受けられること	45	36
(26) 新しい技術やノウハウのある企業や研究所などがあること	44	39
(30) 図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	35	35

であった。このうち(2)、(26)は、前回と区分の移動はない。

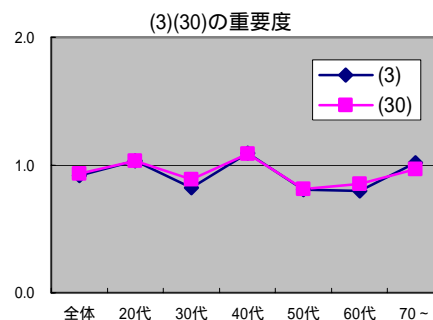
(3)、(30)は、重要度の区分が下がっている。

高等教育・図書館

(3)大学及び(30)図書館に対する「満足度」は、いずれも下位であるが、年代別にみると(3)では、20歳代が極めて低い評価であることが分かる。また(30)は、20～40歳代では下位であるが、70歳代では上位の評価となっている。

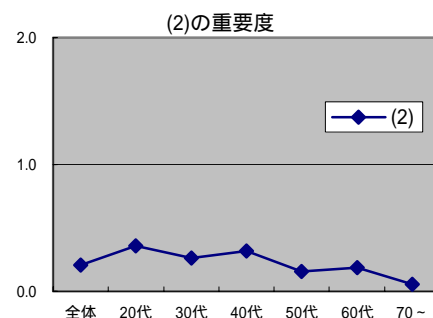


同じ2つの設問に対する「重要度」は、いずれも全体では低い結果となっている。年代別には、(3)(30)とも同様の傾向が見られ20歳代、40歳代、70歳以上の年代では、「重要度」が中程度となっている。



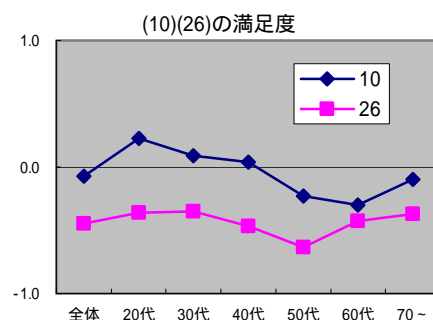
外国人との交流

(2)外国人との交流の設問では、「満足度」は、全体的に低いが特に20歳代の評価が低くなっている。また「重要度」についても、いずれの年代でも低く調査項目中最下位の結果であるが、若年者層よりも高齢者層が低い結果となっている。



技術開発・産業振興（地元の資源は【中-中】である）

技術の開発や産業振興に関する設問の「満足度」は、(10)地元の資源は中程度、(26)新技術・研究所では、下位の評価である。年代別には、(10)では20～30歳代が上位であるが、40～50歳代では下位の評価である。また「重要度」についても同様に(10)は中程度、(26)は低い結果になっている。



## -自由意見・提言概要

### まちづくりへの自由なご意見・ご提言

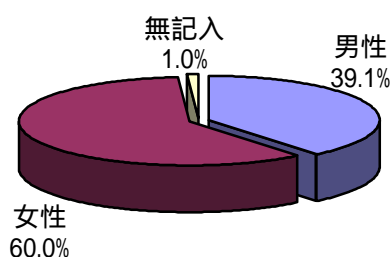
最後に意向調査の回答者957人から「これからのまちづくりなどについて自由な意見・提言」を記述していただいた結果、507人(896件)から貴重な意見・提言がありました。性別・地区別・年代別の意見・提言者の内訳は、次のとおりです。どの年代からもまんべんなく意見・提言が寄せられています。

#### 1. 意見・提言の回答状況

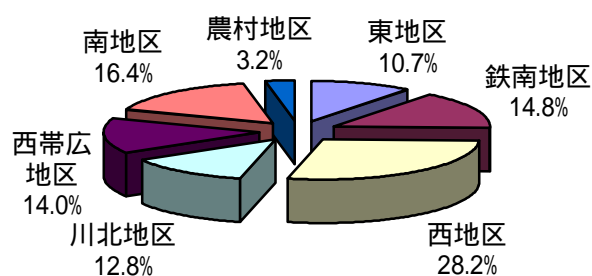
(単位:人)

	男性	女性	無記入	総計
市民意向調査回答総数	377	569	11	957
意見・提言者数	198	304	5	507
意見・提言数/総数(%)	52.5%	53.4%	45.5%	53.0

意見・提言の内訳(男女別割合)



(地区別割合)



#### 2. 地区別の意見・提言数(人)

	東地区	鉄南地区	西地区	川北地区	西帯広地区	南地区	農村地区	総計
市民意向調査回答総数	96	135	272	120	128	163	43	957
意見・提言者数	54	75	143	65	71	83	16	507
意見・提言数/総数(%)	56.3%	55.6%	52.6%	54.2%	55.5%	50.9%	37.2%	53.0%

#### 3. 年代別の意見・提言数(人)

(単位:人)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無記入	総計
市民意向調査回答総数	101	130	136	179	189	219	3	957
意見・提言者数	59	72	73	99	106	96	2	507
意見・提言数/総数(%)	58.4%	55.4%	53.7%	55.3%	56.1%	43.8%	66.7%	53.0%



#### 4. 意見・提言の区分と評価

提出のあった「意見・提言」は、主たる内容から（01中心市街地活性化）～（24その他）まで24の区分に分類し、項目ごとに整理しました。

整理後の意見・提言は、896件となっています。24分類の内訳は、次のとおりですが「05緑化・環境・ゴミ」「06除雪」「08公共施設」「10保健・福祉・医療」「16行財政政策・税・料金」などについての意見・提言が多くなっています。

意見・提言の内容(地区別)集計表

(単位:件)

意見・提言内容	地 区							総計
	東地区	鉄南地区	西地区	川北地区	西帯広地区	南地区	農村地区	
01 中心市街地活性化	8	10	18	8	5	8	1	58
02 生涯学習	1	3	6	2	1		1	14
03 市民協働・町内会・地域活動	3	2	3	4	6	1	1	20
04 行政職員の姿勢	1	5	12	3	3	6		30
05 緑化・環境・ゴミ	11	8	28	15	11	20	1	94
06 除雪	7	6	18	10	13	12	1	67
07 道路	8	6	15	7	6	10		52
08 公共施設	6	6	16	11	8	9	5	61
09 住宅・住宅地	2	5	5		2	1		15
10 保健・医療・福祉	17	11	18	6	13	7	3	75
11 農業		1	5			1	3	10
12 観光	6	6	6	5	7	2		32
13 交通	6	8	16	3	9	15		57
14 高等教育			5		2	2		9
15 商業・産業	1	6	4	2	5	5	1	24
16 行財政政策・税の使途・料金	4	13	30	18	14	12	2	93
17 教育	1	4	7	6	4	4		26
18 安全・安心・防犯・防災	4	7	12	5	9	5	1	43
19 雇用	1	2	3	3	2	3	1	15
20 十勝市町村連携・市町村合併		1	1	2	1			5
21 IT・情報公開	2		5	1	1			9
22 芸術	1	1	1		1		1	5
23 市民意向調査	1	2	2	2	1	1	1	10
24 その他	8	11	20	12	10	9	2	72
合 計	99	124	256	125	134	133	25	896

# まちづくりにあなたのご意見を

平成 17 年市民意向調査票

地区

回答は、該当項目の番号を 1 つ又は複数選んで で囲んでください。

## 【あなたご自身に関すること】

問1 あなたの性別は？

1. 男 2. 女

問2 あなたの年齢は？（5月1日現在の年齢で選んでください）

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

1. 会社員 2. 商・工・サービス業等の自営業 3. 農・林・漁業 4. 公務員 5. 自由業  
6. 主婦 7. 学生 8. 無職 9. その他（ ）

問4 あなたが帯広市に住むようになってから、何年になりますか？（生まれてからずっと住んでいる方は「5. 20年以上」ではなく、「6. 生まれてからずっと」を で囲んでください。）

1. 1年未満 2. 1年～5年未満 3. 5年～10年未満 4. 10年～20年未満  
5. 20年以上 6. 生まれてからずっと

## 【帯広市の住みごちについて】

問5 あなたは、帯広市の住みごちについて、どう感じていますか。あてはまる番号を で囲んでください。

1. 住み良い 2. どちらかといえば住み良い 3. どちらともいえない  
4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい

問6 あなたは、これからも帯広市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号を で囲んでください。

1. 住み続けたい 2. できれば他の市町村に移りたい 3. どちらともいえない

「問7」へ

「問8、問9」へ

「問10」へ

問7 問6で「1. 住み続けたい」と答えた方は、その理由を次の中から2つまで選び、 で囲んでください。

1. ひろびろとしているから 2. 自然に恵まれているから 3. 気候が好きだから 4. 家族の都合で  
5. 人情が厚く、親切だから 6. 親戚や知人が多いから 7. 教育上の理由から  
8. 街に魅力があるから 9. 仕事上の理由から 10. 都市的な便利さがあるから  
11. 生活費が安いから 12. わからない 13. その他

問8 問6で「2. できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。

どこに移りたいとお考えですか。あてはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

1. 帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町） 2. 十勝管内の町村（帯広圏の3町以外） 3. 札幌市  
4. 道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外） 5. 首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県）  
6. 中部圏（愛知県） 7. 近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） 8. 他県（ ） 9. その他（ ）

問9 問6で「2. できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方は、その理由を2つまで選び、 で囲んでください。

1. 仕事上の理由から 2. 家族の都合から 3. 都市的な便利さが不足しているから  
4. 住宅地がないから 5. 教育上の理由から 6. 生活費が高いから 7. 街に魅力が少ないから  
8. 自然が少ないから 9. 気候がきらいだから 10. 知人や親戚が少ないから  
11. 人情がうすく、不親切だから 12. わからない 13. その他（ ）

用紙を開き、次のページにお進みください。

【まちづくりに関する具体的なことについて】

問10 次のことがらについて、あなたは現在、どの程度満足していますか。  
また、今後、どの程度重要になるとお考えですか。

回答のしかた

各項目について、「現在、あなたが満足している度合い」を「満足度」の欄1～5の中から選び、で囲んでください。  
また同じ項目について、「今後のまちづくりにとってどの程度重要になるとお考えか」を「重要度」の欄1～5の中から選びで囲んでください。

満足度					重要度				
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない

(記載例) 子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	1 子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
	2 外国の人々と交流する機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3 大学があり高度な教育が受けられること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4 町内会などの地域活動に参加する機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5 老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6 地域の自然環境を大切にしている取り組みをすすめること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7 公園・緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8 とかち帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9 生涯を通して学習する機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10 地元の資源や特性を活かして製品を作る企業があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11 農業についての体験や、知ることのできる機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12 スポーツ活動などに参加する機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13 市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14 病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15 高齢者のための社会福祉施設が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16 大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17 快適な環境の住宅地が供給されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18 市内におけるバス利用の便がよいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19 行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20 若者が魅力を感じることでできる働く場があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21 音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22 老後に生きがいを持った生活がおくれること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23 リサイクルが行われ、環境を大切にしている地域づくりをすすめること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24 道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

前ページの続きです。

同じ要領で「現在、満足している度合い」を「満足度」、「今後、重要になると考える度合い」を「重要度」の欄にそれぞれ該当する番号を で囲んでください。

満足度					重要度				
1 満足している	2 やや満足している	3 どちらともいえない	4 やや不満である	5 不満である	1 重要である	2 やや重要である	3 どちらともいえない	4 あまり重要ではない	5 重要でない

	25	市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などがあること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27	小学校・中学校において充実した教育が受けられること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28	生き生きとして働くことのできる場があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	30	図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	32	行事・催し物や行政などの知りたい情報がすぐに手に入ること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33	安心して働けるために保育所などの環境が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34	障がいを持つ人のための社会福祉施設が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35	道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	36	地元の自然や特産物を活かした観光資源があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37	身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38	病気やけがをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	39	雨水が適切に排水処理されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	41	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	42	身近なところの道路が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	43	十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	45	街の中や郊外などに美しい景観が保たれていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	46	正しい消費者情報が得られ、相談が受けられること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	47	買いたいものが買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	48	市役所の行財政改革が進められていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	49	姉妹都市など国内の他都市との交流をする機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	50	防犯など身近な地域の安全が保たれていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

